第３章　健康

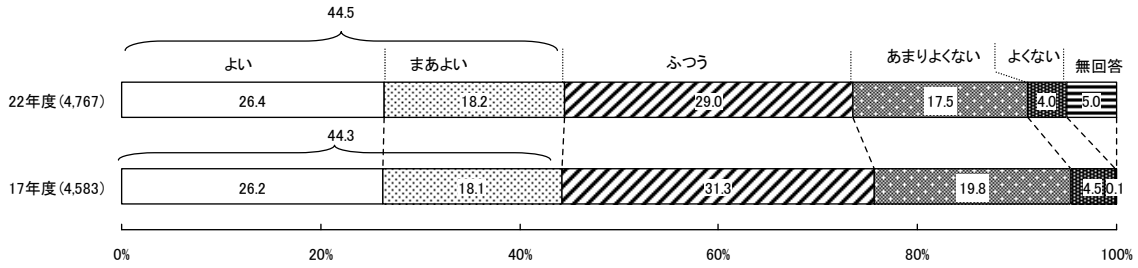
1　健康意識

「よい」と「まあよい」を合わせた割合は 44.5%

健康状態をどのように感じているか聞いたところ、「ふつう」の割合が最も高く 29.0%、次いで「よい」が 26.4%となっている。また、「よい」と「まあよい」を合わせた割合は 44.5%となっている。

17 年度調査と比較すると、「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、ほとんど変化していない。(図 3-1)

図 3-1　健康意識



(注)統計比率を合算した比率(44.5%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳とは一致しない。

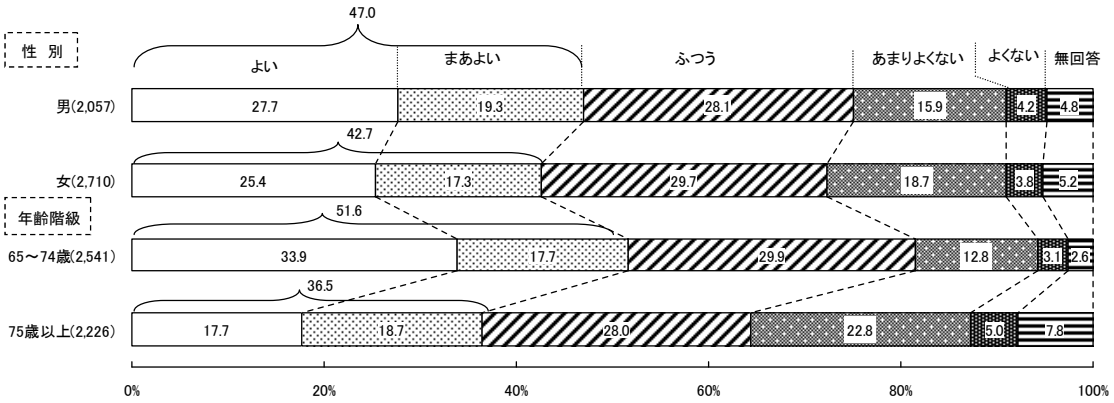
(1) 健康意識－性・年齢階級別

「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、女性（42.7%）よりも男性(47.0%)の方が高くなっている

健康意識を性別で見ると、「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、男性 47.0%に対して、女性 42.7%で、男性の方が高くなっている。

年齢階級別で見ると、「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、前期高齢者（65～74 歳）は 51.6%であるが、後期高齢者（75 歳以上）は 36.5%で、前期高齢者に比べて 15.1 ポイント低くなっている。(図 3-2)

図 3-2　健康意識－性・年齢階級別



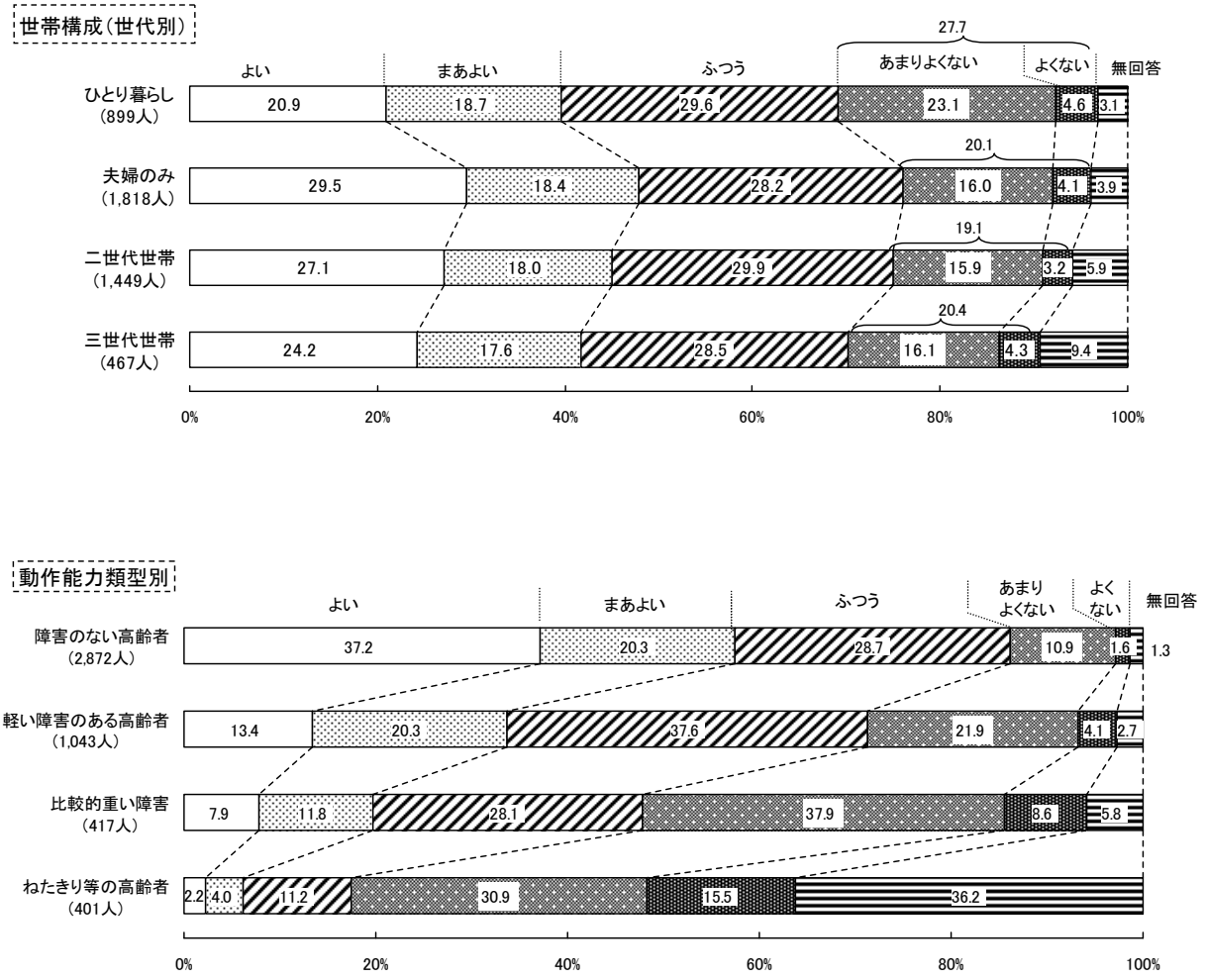
(注)統計比率を合算した比率(36.5%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳とは一致しない。

(2) 健康意識－世帯構成（世代別）、動作能力類型別

「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合は、ひとり暮らしが最も高く、27.7%

世帯構成（世代別）で見ると、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合は、ひとり暮らしが 27.7%で最も高くなっている。(図 3-3)

図 3-3 健康意識－世帯構成（世代別）、動作能力類型別



2　日常生活動作（ADL）

高齢者の日常生活動作(ADL)を、「聴力」「視力」「意思伝達」「歩行」「食事」「着替え」「入浴」「排泄」の基本項目と、「家事一般」「金銭の管理」「薬の管理」「電話の利用」の項目、さらに行動範囲を中心とした「総合」に分けて聞いた。

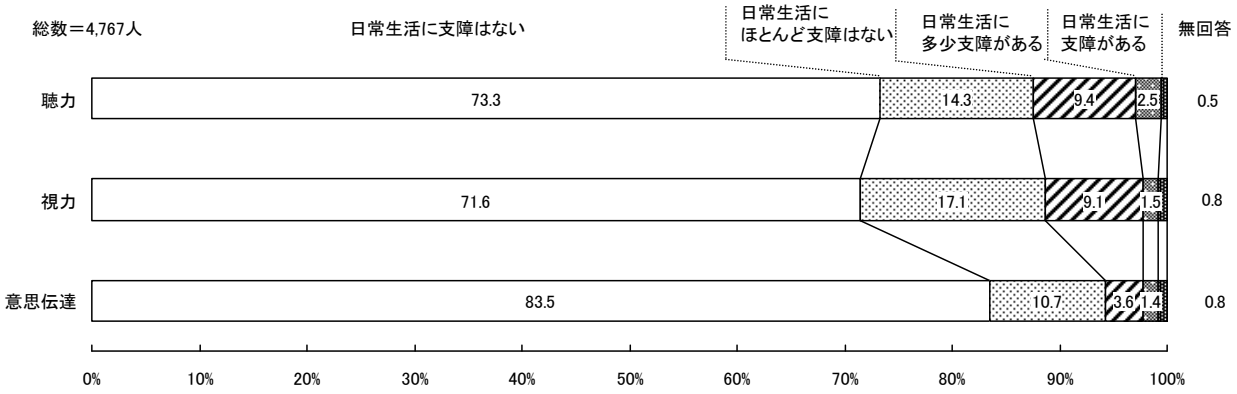
問　総合的に判断してお体の状態はいかがですか。
※　できるけれど、していない場合は「できる」と考えて○をつけてください

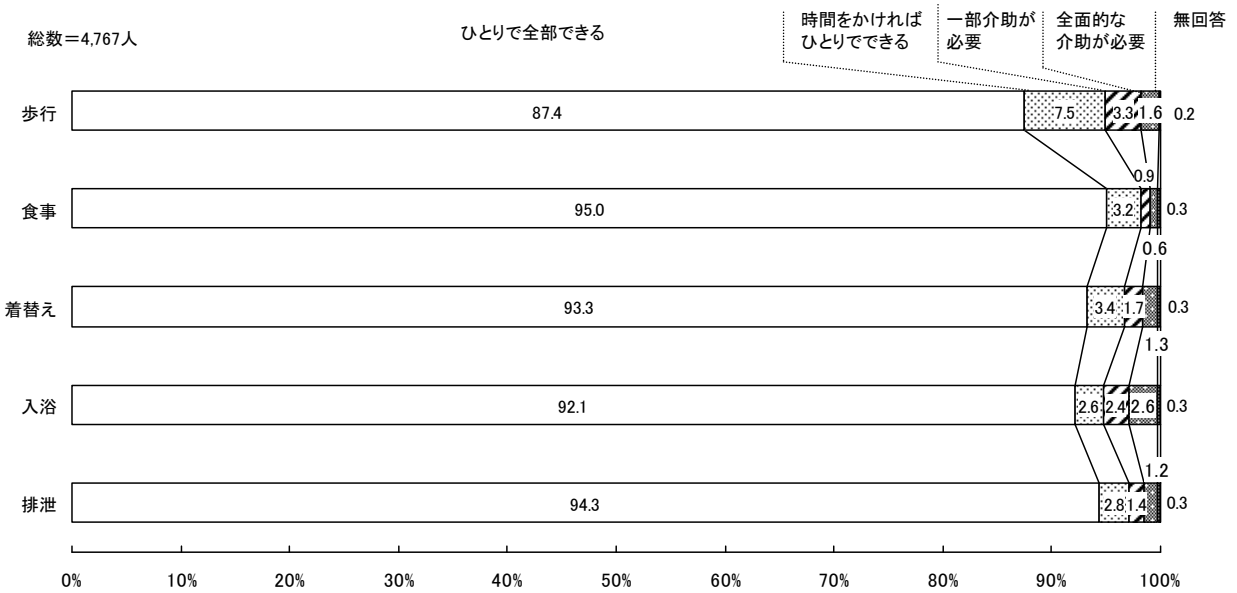
(1)　日常生活動作（ADL）（聴力、視力、意思伝達、歩行、食事、着替え、入浴、排泄）

すべての項目において、7 割以上の高齢者が「日常生活に支障はない」又は「ひとりで全部できる」と回答

すべての項目において、7 割以上の高齢者が「日常生活に支障はない」又は「ひとりで全部できる」と回答している。(図 3-4)

図 3-4　日常生活動作（ADL）（聴力、視力、意思伝達、歩行、食事、着替え、入浴、排泄）





8 項目の回答状況を、段階Ａ・Ｂに分けて表示したのが表 3-1 である。

表 3-1　日常生活動作(ADL)

（注）Ａ・Ｂ欄は「動作能力類型」(P42 参照）を作成するための分類である。　（単位：%）

	A		B	
聴　力	1　日常生活に支障はない	73.3	4　日常生活に支障がある	2.5
※1	2　日常生活にほとんど支障はない	14.3		
	3　日常生活に多少支障がある	9.4		
視　力	1　日常生活に支障はない	71.6	3　日常生活に多少支障がある	9.1
※2	2　日常生活にほとんど支障はない	17.1	4　日常生活に支障がある	1.5
意思伝達	1　日常生活に支障はない	83.5	3　日常生活に多少支障がある	3.6
	2　日常生活にほとんど支障はない	10.7	4　日常生活に支障がある	1.4
歩　行	1　ひとりで全部できる	87.4	3　一部介助が必要	3.3
※3	2　時間をかければひとりでできる	7.5	4　全面的な介助が必要	1.6
食　事	1　ひとりで全部できる	95.0	3　一部介助が必要	0.9
	2　時間をかければひとりでできる	3.2	4　全面的な介助が必要	0.6
着替え	1　ひとりで全部できる	93.3	3　一部介助が必要	1.7
	2　時間をかければひとりでできる	3.4	4　全面的な介助が必要	1.3
入　浴	1　ひとりで全部できる	92.1	3　一部介助が必要	2.4
	2　時間をかければひとりでできる	2.6	4　全面的な介助が必要	2.6
排　泄	1　ひとりで全部できる	94.3	3　一部介助が必要	1.4
	2　時間をかければひとりでできる	2.8	4　全面的な介助が必要	1.2

※1　ふだん補聴器を使用している場合は、補聴器を使用した状態で回答している。

※2　ふだん眼鏡を使用している場合は、眼鏡を使用した状態で回答している。

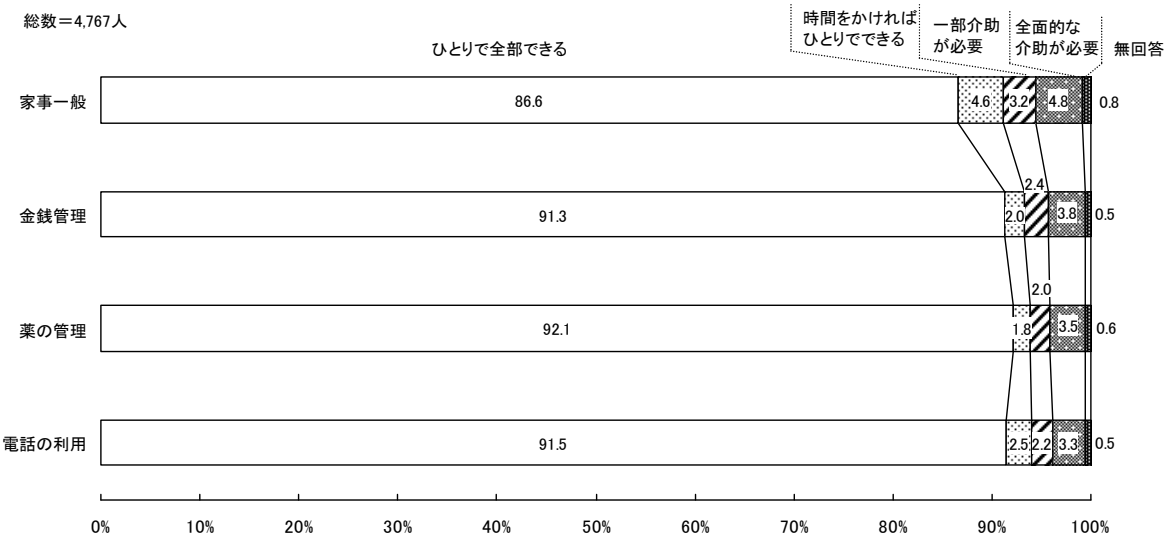
※3　ふだん杖や車椅子等を使用している場合は、それらを使用した状態で回答している。

(2)　日常生活動作（ADL）（家事一般、金銭管理、薬の管理、電話の利用）

いずれの項目においても、8 割以上の高齢者が「ひとりで全部できる」と回答

いずれの項目においても、8 割以上の高齢者が「ひとりで全部できる」と回答している。(図 3-5)

図 3-5　日常生活動作（ADL）（家事一般、金銭管理、薬の管理、電話の利用）



(3)　日常生活動作（ADL）－性・年齢階級別

年齢階級が高くなるとともに「日常生活に支障はない」又は「ひとりで全部できる」の割合は、概ね、低くなっている

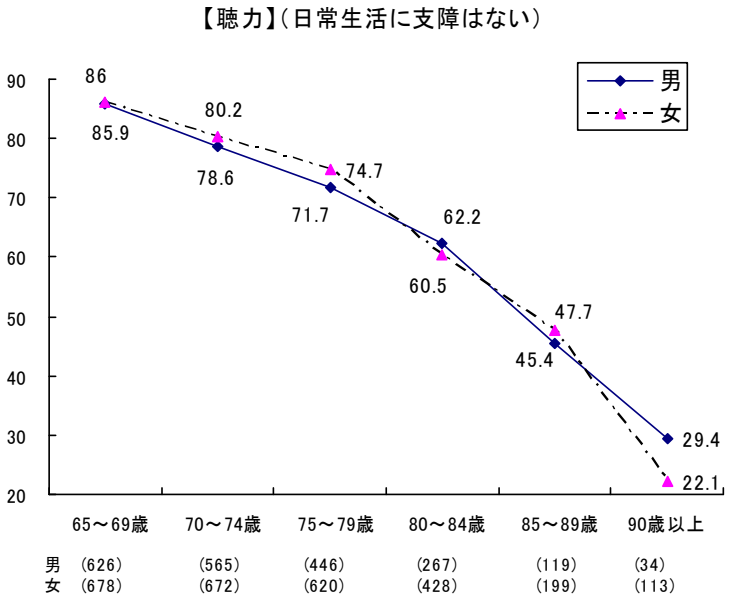
下記の図 3-6 の各図は、日常生活動作（ADL）の各項目で「日常生活に支障はない」又は「ひとりで全部できる」と回答した高齢者の割合を年齢階級別に示したものである。

年齢階級が高くなるとともに「日常生活に支障はない」又は「ひとりで全部できる」の割合は、概ね、低くなっている。

性別で見ると、「65～69 歳」では男女に差異はあまりみられないが、「85～89 歳」、「90 歳以上」では、聴力を除いた項目において、概ね、女性の方が男性より低い割合になっている。

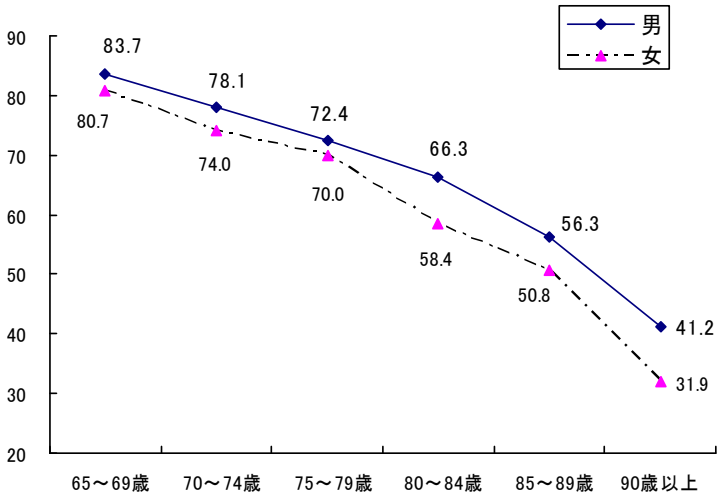
特に「歩行」、「食事」、「入浴」、「排泄」、「金銭の管理」、「薬の管理」、「電話の利用」では、女性の方が 30 ポイント以上低くなっている。（図 3-6）

図 3-6　ADL に問題のない高齢者の割合－性・年齢階級別

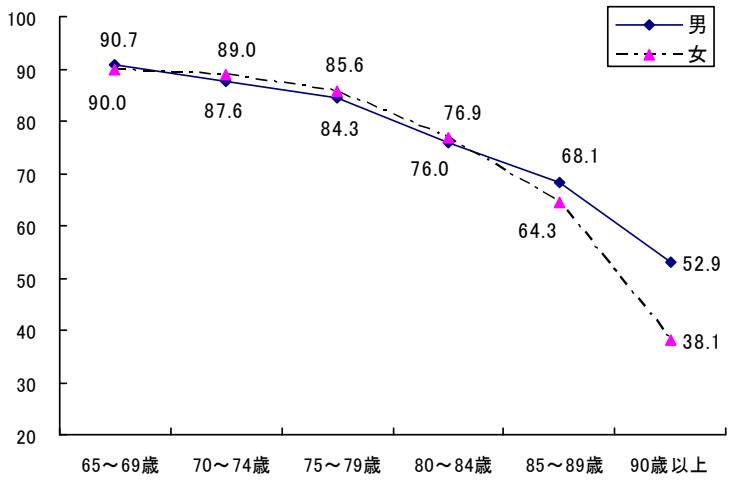


（注 1）　（　　）内の数値は性・年齢階級別の総数である。他の項目は省略してあるが、同じ数値である。
（注 2）　折れ線グラフの数値は、日常生活動作（ADL）の各項目で「日常生活に支障はない」又は「ひとりで全部できる」と回答した高齢者の割合である。他の項目も同じ。
（注 3）　調査は、在宅の高齢者のみが対象のため、回答者の傾向として比較的元気な方が多いことが予想される。

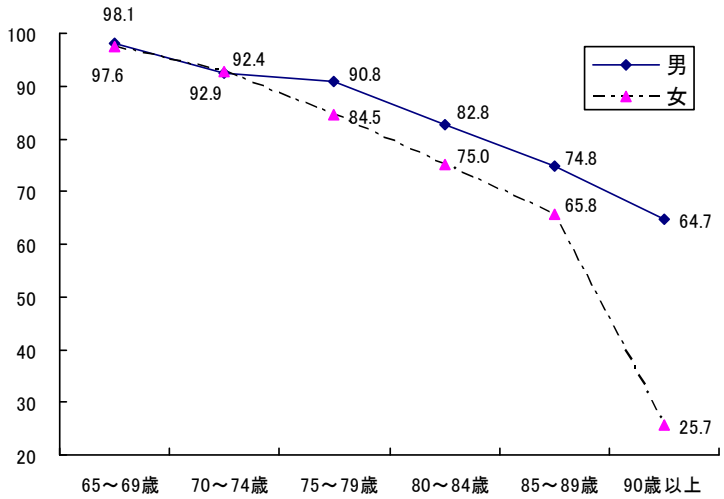
【視力】（日常生活に支障はない）



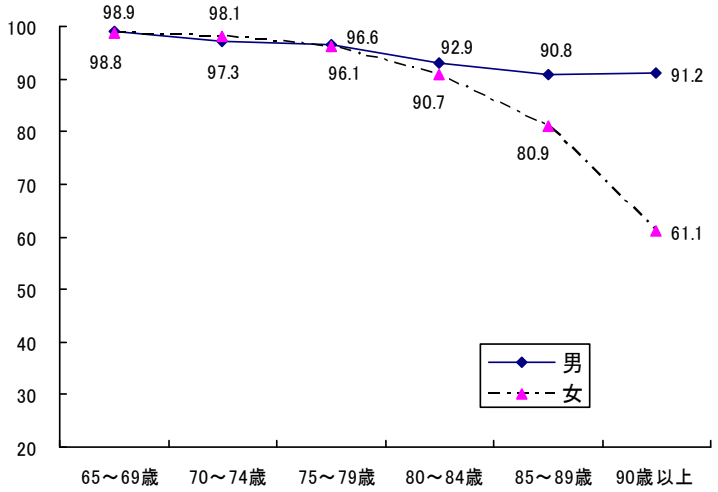
【意思伝達】（日常生活に支障はない）



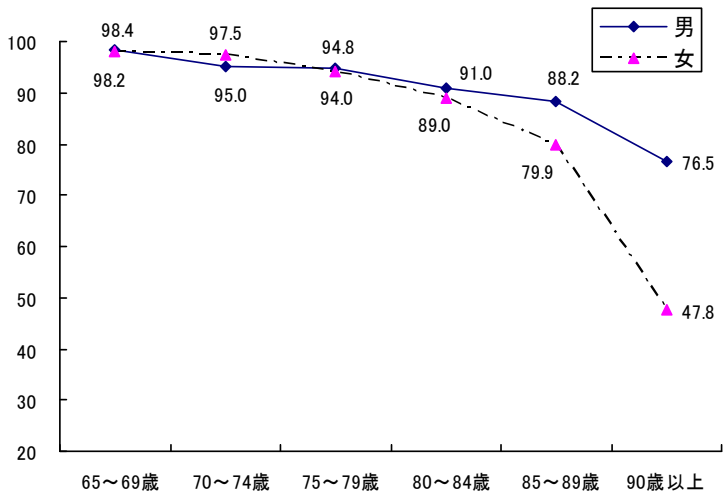
【歩行】（ひとりで全部できる）



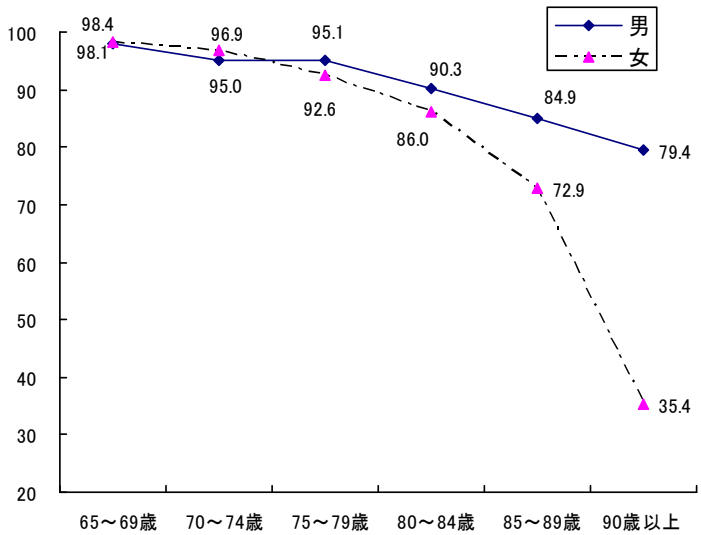
【食事】（ひとりで全部できる）



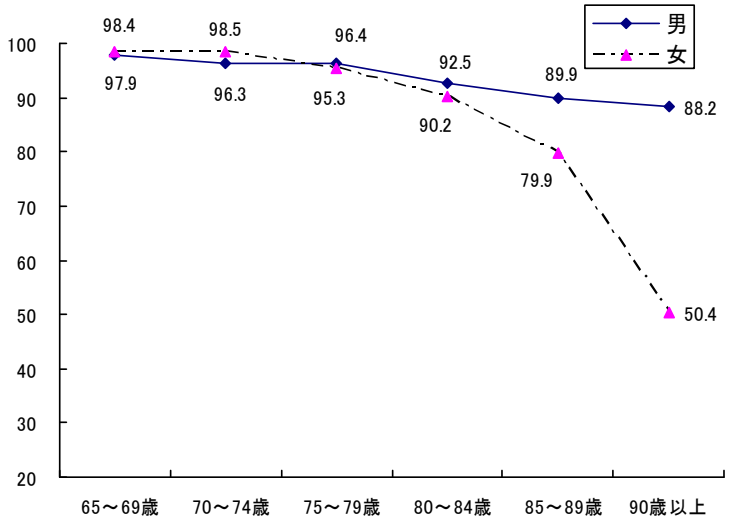
【着替え】（ひとりで全部できる）



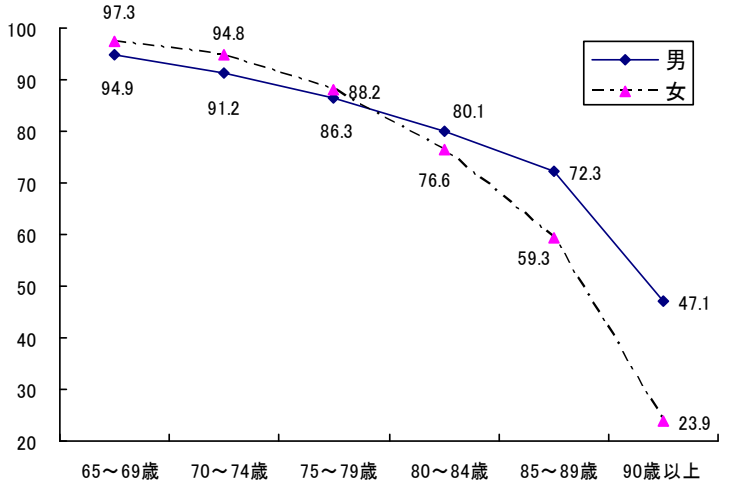
【入浴】（ひとりで全部できる）



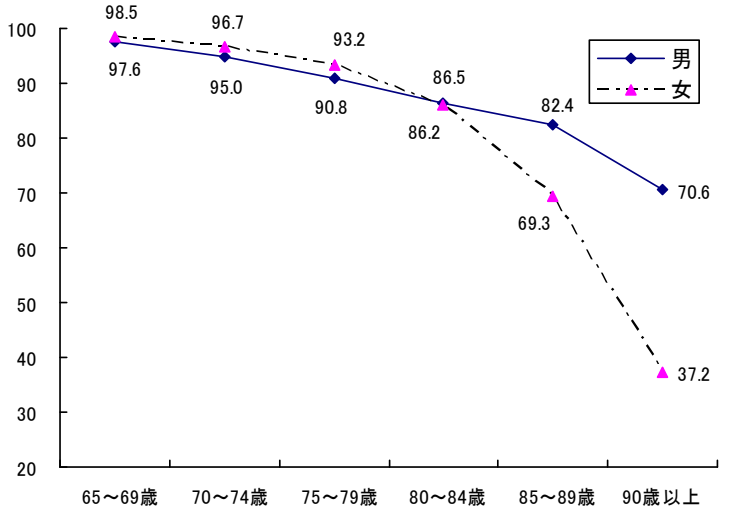
【排泄】（ひとりで全部できる）



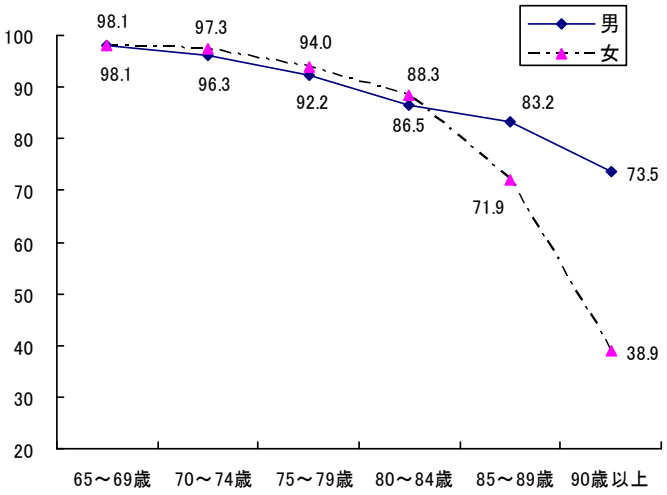
【家事全般】（ひとりで全部できる）



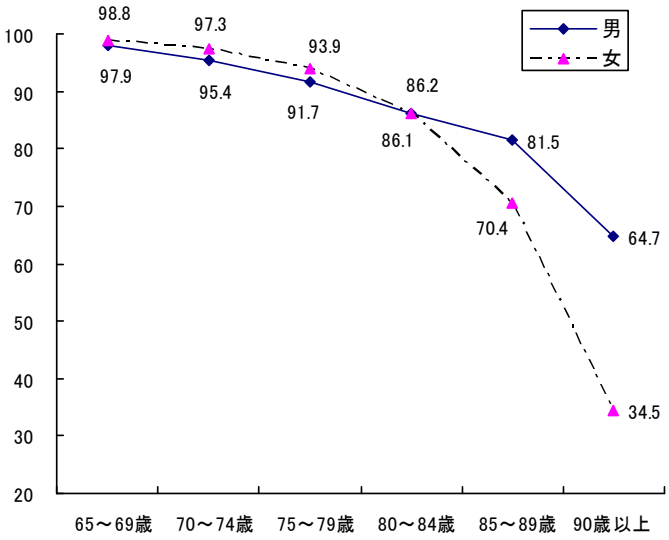
【金銭の管理】（ひとりで全部できる）



【薬の管理】（ひとりで全部できる）



【電話の利用】（ひとりで全部できる）



(4)　日常生活動作（ADL）（総合）－17 年度調査との比較

日常生活動作（ADL）を総合的に見ると、生活自立の高齢者の割合が 9 割超

日常生活動作（ADL）を総合的に見るため、下記の表 3-2 の段階に分けて聞いたところ、「日常生活のことはほぼ自分ででき、ひとりで外出できる」の割合は 91.3%で、自立した高齢者の割合は 9 割を超えている。(図 3-7)

図 3-7　日常生活動作（ADL）（総合）－17 年度調査との比較

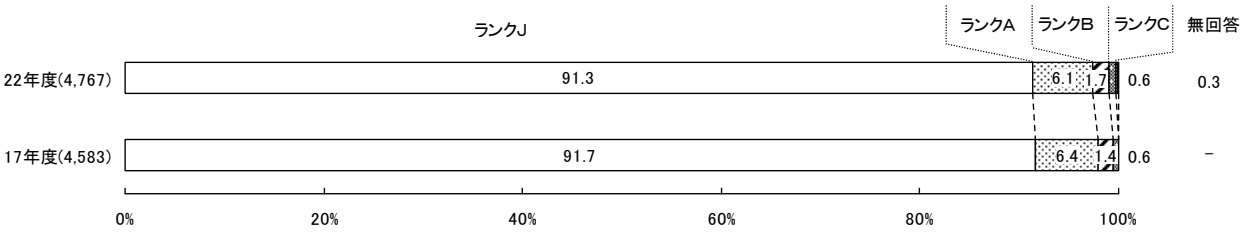


表 3-2　日常生活動作（総合）

ランクJ	生活自立	日常生活のことはほぼ自分ででき、ひとりで外出できる 1　バス・電車などの公共交通機関を利用して、ひとりで遠くまで外出できる 2　となり近所への買い物や老人会などへの参加など、町内の距離程度の範囲までならひとりで外出できる
ランクA	準ねたきり	食事、着替え、排泄はだいたい自分でできるが、外出するには介助が必要である 1　介助によりしばしば外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2　外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
ランクB	ねたきり	食事、着替え、排泄のいずれかにおいて部分的に介助を必要とし、日中もベッドでの生活が主であるが、椅子などに座ることができる 1　自分で車いすなどに座り、食事、排泄はベッドから離れて行う 2　介助により車いすなどに座り、食事、排泄は介助が必要である
ランクC		１日中ベッドの上で過ごし、食事、着替え、排泄のいずれにおいても全面的な介助が必要である 1　自力で寝返りをうつことができる 2　自力で寝返りをうつことができない

（注）ランクの区分は「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準」（厚生労働省）による。

(5) 日常生活動作（ADL）（総合）－性・年齢階級別

「日常生活のことはほぼ自分でできる、ひとりで外出できる」割合は、85 歳以上では男性 77.8%、女性 55.4%

「日常生活のことはほぼ自分でできる、ひとりで外出できる」割合は、男女ともに年齢階級が上がるにつれて減少しているが、性別で見ると、85 歳以上では男性 77.8%、女性 55.4%と、女性が男性よりも 22.4 ポイント低くなっている。(表 3-3)

また、「バス・電車等の公共交通機関を利用して、ひとりで遠くまで外出できる」割合は、85 歳以上の男性で 57.5%、女性は 30.4%で、男性が女性よりも 27.1 ポイント高くなっている。

一方、「町内の距離程度の範囲までならひとりで外出できる」割合は、85 歳以上の男性で 20.3%、女性では 25.0%で、女性が男性よりも 4.7 ポイント高くなっている。

表 3-3 日常生活動作（ADL）（総合）－性・年齢階級別

		総数	日常生活のことはほぼ自分でできる。ひとりで外出できる	バス・電車等の公共交通機関を利用して、ひとりで遠くまで外出できる	町内の距離程度の範囲までならひとりで外出できる	食事、着替え、排泄は大体自分でできるが、外出するには介助が必要	介助によりしばしば外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する	外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている	食事、着替え、排泄のいずれかにおいて部分的に介助を必要とし、日中もベッドでの生活が主であるが、椅子等に座ることができる	自分で車いす等に座り、食事、排泄はベッドから離れて行う	介助により車いす等に座り、食事、排泄は介助が必要	1日中ベッドの上で過ごし、食事、着替え、排泄のいずれにおいても全面的な介助が必要	自力で寝返りをうつことができる	自力で寝返りをうつことができない	無回答
総数		100.0 (4,767)	91.3	82.1	9.1	6.1	3.5	2.6	1.7	0.9	0.8	0.6	0.3	0.4	0.3
性・年齢階級別	男	100.0 (2,057)	93.5	87.0	6.5	4.5	2.5	2.0	1.1	0.6	0.5	0.5	0.2	0.2	0.4
	65～69歳	100.0 (626)	98.9	96.6	2.2	0.6	0.2	0.5	0.2	－	0.2	0.2	－	0.2	0.2
	70～74歳	100.0 (565)	95.2	90.8	4.4	3.4	2.5	0.9	0.7	0.4	0.4	0.2	0.2	－	0.5
	75～79歳	100.0 (446)	93.3	86.8	6.5	4.3	2.0	2.2	1.3	0.4	0.9	0.4	0.2	0.2	0.7
	80～84歳	100.0 (267)	86.5	73.8	12.7	10.1	5.6	4.5	1.9	1.9	－	1.5	0.7	0.7	－
	85歳以上	100.0 (153)	77.8	57.5	20.3	15.7	8.5	7.2	4.6	2.0	2.6	1.3	0.7	0.7	0.7
	女	100.0 (2,710)	89.6	78.4	11.2	7.3	4.3	3.1	2.1	1.1	1.0	0.7	0.3	0.4	0.3
	65～69歳	100.0 (678)	97.6	95.1	2.5	1.3	0.7	0.6	0.6	0.1	0.4	0.1	0.1	－	0.3
	70～74歳	100.0 (672)	95.8	91.7	4.2	3.4	1.9	1.5	0.4	0.4	－	－	－	－	0.3
	75～79歳	100.0 (620)	92.9	79.7	13.2	6.1	4.2	1.9	0.6	0.2	0.5	0.2	0.2	－	0.2
	80～84歳	100.0 (428)	86.9	64.0	22.9	8.9	4.2	4.7	3.3	1.6	1.6	0.5	－	0.5	0.5
	85歳以上	100.0 (312)	55.4	30.4	25.0	29.2	17.3	11.9	10.3	6.1	4.2	4.8	1.6	3.2	0.3

(6) 現在の状態となった主な原因（複数回答）－性・年齢階級別、17 年度調査との比較

現在の状態になった主な原因は、男性は「脳血管疾患」、女性は「高齢による衰弱」がそれぞれ約 3 割

「日常生活動作（総合）」で、ランク A（準ねたきり）、ランク B・C（ねたきり）に該当した高齢者(401 人)に対し、現在の状態となった主な原因を聞いたところ、「高齢による衰弱」の割合が最も高く 26.9%、次いで「骨折・転倒」21.4%、「脳血管疾患」が 20.7%となっている。

性別で見ると、男性は、「脳血管疾患」の割合が最も高く 34.1%、次いで「高齢による衰弱」19.0%、「認知症」18.3%となっている。女性は、「高齢による衰弱」の割合が最も高く 30.4%、次いで「骨折・転倒」23.3%、「認知症」19.3%となっている。

年齢階級別で見ると、「高齢による衰弱」の割合は、85 歳以上が最も高く 41.5%となっている。また、79 歳以下の年齢階級では、どの階級においても「脳血管疾患」の割合が最も高くなっている（30.0%～37.1%）。

17 年度調査と比較すると、「認知症」の割合は 10.3 ポイント、「高齢による衰弱」の割合は 8.3 ポイントそれぞれ増加している。(表 3-4)

問　現在の状態になった主な原因は何ですか。

表 3-4　現在の状態となった主な原因（複数回答）－性・年齢階級別、17 年度調査との比較

		総数	脳血管疾患	骨折・転倒	認知症	関節疾患	パーキンソン病	心臓病	脊髄損傷	糖尿病	呼吸器疾患	視覚・聴覚障害	がん	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
総数		100.0 (401)	20.7	21.4	19.0	7.7	3.0	12.0	5.5	10.7	4.0	8.0	5.5	26.9	14.0	3.2	1.0
性別	男	100.0 (126)	34.1	17.5	18.3	4.0	3.2	14.3	8.7	15.1	4.0	6.3	4.0	19.0	10.3	5.6	－
	女	100.0 (275)	14.5	23.3	19.3	9.5	2.9	10.9	4.0	8.7	4.0	8.7	6.2	30.4	15.6	2.2	1.5
年齢階級別	65～69歳	100.0 (20)	30.0	－	5.0	5.0	10.0	20.0	－	5.0	－	10.0	20.0	－	20.0	－	－
	70～74歳	100.0 (50)	34.0	22.0	8.0	12.0	6.0	8.0	12.0	16.0	2.0	4.0	4.0	8.0	12.0	2.0	2.0
	75～79歳	100.0 (70)	37.1	12.9	15.7	8.6	1.4	11.4	8.6	8.6	8.6	8.6	7.1	15.7	21.4	2.9	－
	80～84歳	100.0 (90)	16.7	24.4	24.4	7.8	5.6	14.4	5.6	16.7	3.3	10.0	5.6	24.4	10.0	5.6	－
	85歳以上	100.0 (171)	11.1	25.7	22.2	6.4	0.6	11.1	2.9	7.6	3.5	7.6	3.5	41.5	12.9	2.9	1.8
17年度調査		100.0 (381)	23.9	20.7	8.7	8.7	2.9	8.9	3.9	6.6	6.0	5.8	4.7	18.6	14.7	4.7	3.4

3　動作能力類型

(1)　動作能力類型

動作能力類型に分けると、障害のない高齢者は 6 割、ねたきり等の高齢者は約 1 割

調査対象者の動作能力について、下記の表 3-5 のとおり類型分けを行った。

「障害のない高齢者」の割合が最も高く 60.2%、次いで「軽い障害のある高齢者」が 21.9%、「比較的重い障害のある高齢者」が 8.7%、「ねたきり等の高齢者」が 8.4%となっている。(表 3-6)

表 3-5　動作能力類型

ねたきり等の高齢者	ねたきり高齢者	「日常生活動作（総合)」(P39、表 3-2）のランクＢ又はＣ
	ねたきりに近い高齢者	「日常生活動作（総合)」(P39、表 3-2）のランクＡ
比較的重い障害のある高齢者		「日常生活動作（総合)」(P39、表 3-2）のランクＪ　かつ「日常生活動作」(P31、表 3-1）のＢ欄に 1 つでも該当のある者
軽い障害のある高齢者		「日常生活動作（総合)」(P39、表 3-2）のランクＪ　かつ「日常生活動作」(P32、表 3-1）でＢ欄に該当がなくＡ欄に 1 つでも 1 以外に該当のある者
障害のない高齢者		「日常生活動作（総合)」(P39、表 3-2）のランクＪ　かつ「日常生活動作」(P32、表 3-1）ですべてが 1 に該当する者

表 3-6　動作能力類型

	総数	ねたきり等の高齢者	ねたきり高齢者	ねたきりに近い高齢者	比較的重い障害のある高齢者	軽い障害のある高齢者	障害のない高齢者	無回答
総数	100.0 (4,767)	8.4	2.3	6.1	8.7	21.9	60.2	0.7
【参考】								
平成17年度調査	100.0 (4,583)	8.3	1.9	6.4	2.0	17.7	72.0	－
平成12年度調査	100.0 (5,086)	6.2	2.2	4.0	5.5	13.9	74.4	－
平成7年度調査	100.0 (8,686)	3.5	1.7	1.9	3.4	19.0	74.1	－
平成2年度調査	100.0 (8,715)	3.6	1.4	2.2	2.7	18.0	75.7	－
昭和60年度調査	100.0 (8,992)	3.6	1.5	2.1	2.1	22.1	72.2	－

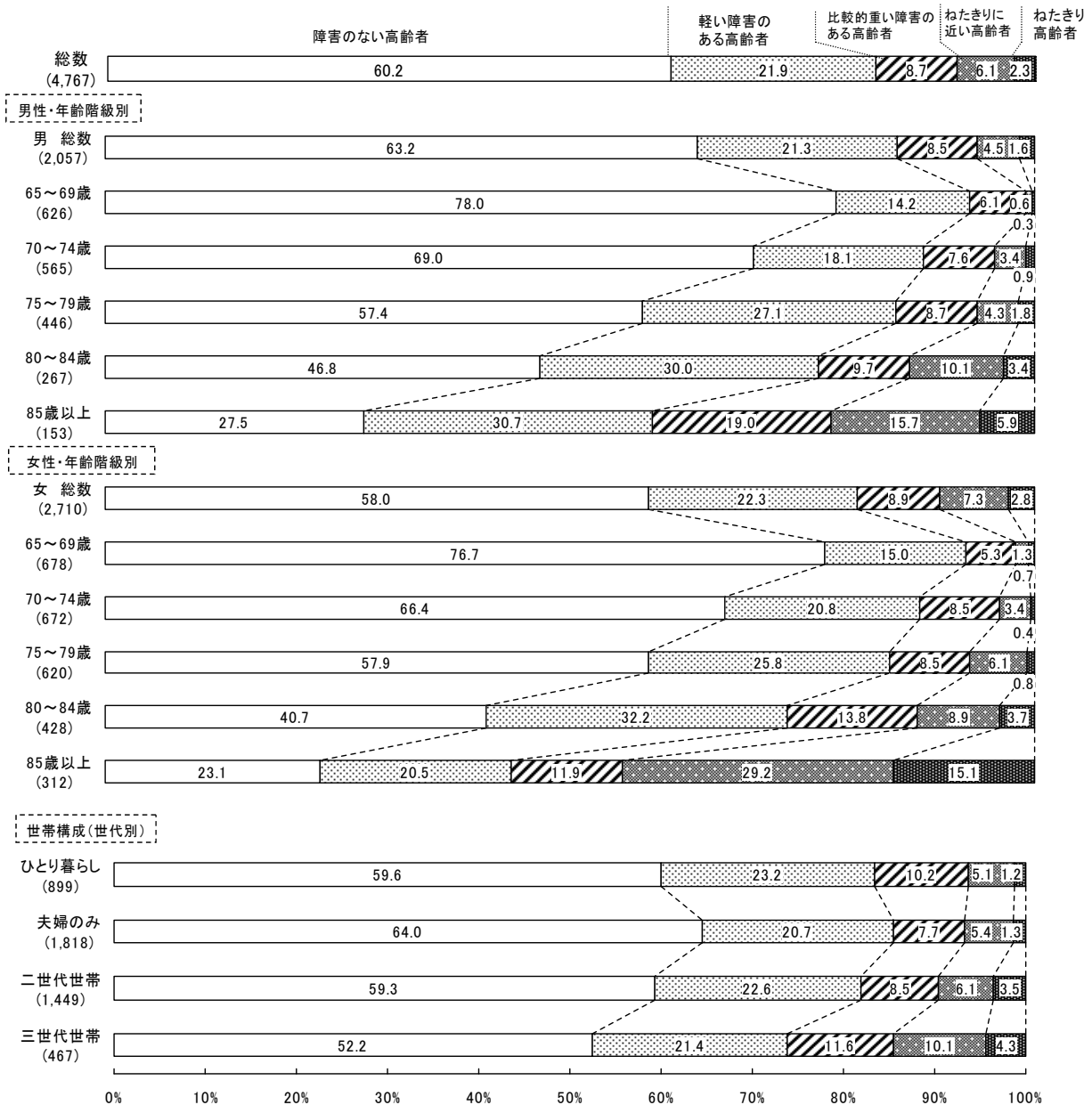
（注）平成 17 年度調査までと本調査では、「日常生活動作（ADL)」(P32）の選択肢の表現が一部異なっており、厳密に比較を行うことはできないため、参考値である。

(2) 動作能力類型－性・年齢階級、世帯構成（世代別）別

「障害のない高齢者」の割合は、65～69 歳では男女ともに 8 割弱で、年齢階級が上がるとともに減少

性・年齢階級別で見ると、「障害のない高齢者」の割合は、65～69 歳では男女ともに 8 割弱であるが、年齢階級が上がるとともに減少し、85 歳以上では男性 27.5%、女性 23.1%まで減少している。(図 3-8)

図 3-8 動作能力類型－性・年齢階級、世帯構成（世代別）別



4　傷病等の状況

(1)　現在、かかっている傷病の状況

現在、何らかの傷病にかかっている人は約 8 割

現在、何らかの傷病にかかっているかを聞いたところ、「現在傷病にかかっている」人の割合は 79.4%で、このうち「高血圧症」の割合が最も高く 40.6%、次いで「眼の病気」17.0%、「腰痛症」14.7%と続いている。また、「現在傷病にかかっていない」人は 19.7%で、約 2 割となっている。(図 3-9)

問　あなたは現在、何らかの傷病にかかっていますか。

図 3-9　現在、かかっている傷病の状況

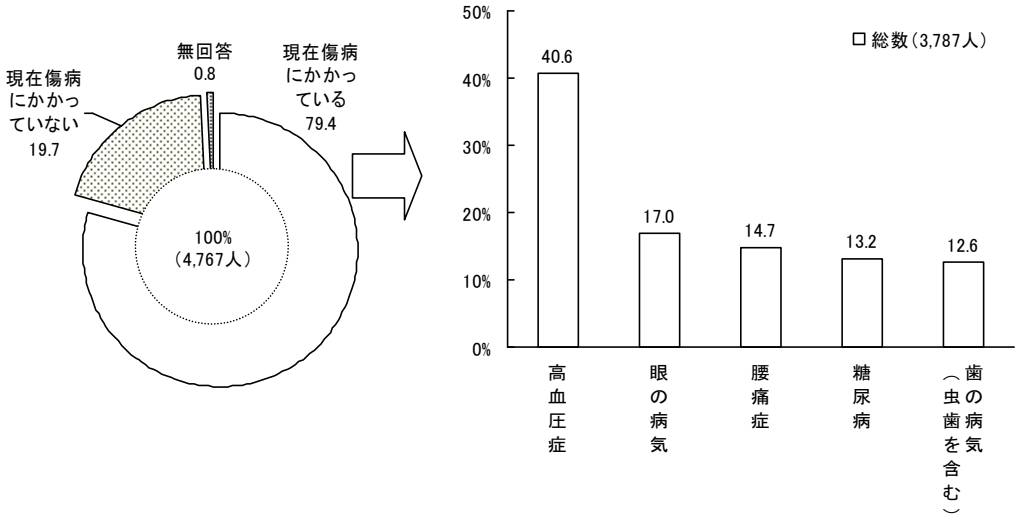


表 3-7　現在、かかっている傷病の状況（複数回答）－性・年齢階級、動作能力類型別

		総数	内分泌・代謝障害	糖尿病	肥満症	脂質異常症（高コレステロール血症）	甲状腺の病気	精神・神経	うつ病やその他こころの病気	認知症	パーキンソン病	その他神経の病気（神経痛・麻痺等）	眼の病気	耳の病気	循環器系	高血圧症	脳卒中（脳出血、脳梗塞等）	狭心症・心筋梗塞	その他循環器系の病気	呼吸器系	急性鼻咽頭炎（かぜ）	アレルギー性鼻炎	喘息	その他呼吸器系の病気
総数		100.0 (4,767)	20.3	10.5	1.9	8.3	1.8	5.7	1.6	2.3	0.6	1.6	13.5	4.0	41.2	32.2	3.6	5.1	5.4	7.1	0.5	3.0	2.1	2.2
性別	男	100.0 (2,057)	19.3	13.5	1.8	5.4	0.4	4.4	1.2	1.8	0.5	1.1	10.7	4.0	43.3	32.2	5.2	6.5	4.9	7.5	0.5	2.7	2.2	2.7
	女	100.0 (2,710)	21.1	8.2	2.1	10.6	2.8	6.8	2.0	2.8	0.7	1.9	15.6	3.9	39.5	32.3	2.4	3.9	5.8	6.8	0.6	3.1	2.0	1.8
年齢階級別	65～69歳	100.0 (1,304)	20.1	8.8	2.1	8.9	2.0	2.9	1.7	0.2	0.3	0.8	9.7	2.5	31.5	26.7	2.4	2.8	2.8	6.9	0.5	3.9	2.4	1.2
	70～74歳	100.0 (1,237)	21.9	11.0	2.1	9.0	2.1	4.4	2.1	0.5	0.6	1.5	12.8	2.9	39.3	30.9	3.6	4.2	4.4	7.1	0.6	3.2	1.9	1.8
	75～79歳	100.0 (1,066)	21.5	12.4	1.9	7.9	1.4	5.9	1.7	2.2	0.9	1.5	15.9	4.9	46.2	36.4	4.0	6.5	5.7	7.5	0.6	2.6	1.7	3.0
	80～84歳	100.0 (695)	20.0	10.8	2.2	8.8	1.9	6.6	0.7	4.0	0.7	1.6	16.3	5.9	49.4	37.3	4.2	7.3	7.9	6.2	0.4	1.7	2.7	2.2
	85歳以上	100.0 (465)	14.4	8.8	0.6	5.4	1.1	15.3	1.5	11.2	－	3.7	16.3	6.2	49.5	34.2	4.9	7.1	11.0	8.0	－	2.2	1.9	4.1
動作能力類型	ねたきり高齢者	100.0 (109)	22.9	19.3	－	5.5	1.8	41.3	2.8	33.0	6.4	4.6	17.4	5.5	60.6	28.4	25.7	9.2	16.5	3.7	－	1.8	1.8	－
	ねたきりに近い高齢者	100.0 (292)	21.9	15.4	2.4	6.8	2.1	32.5	7.2	19.2	2.4	6.5	19.5	6.5	48.3	29.8	12.0	8.2	10.3	11.0	0.3	4.1	1.7	6.5
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (417)	25.9	16.1	3.4	8.4	2.4	7.9	2.6	2.4	0.2	3.4	41.2	15.1	47.2	33.3	5.8	6.7	8.4	10.3	1.2	3.1	2.9	4.1
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,043)	24.4	11.1	3.1	11.3	2.2	4.5	1.8	0.5	0.8	1.6	16.4	6.9	45.3	36.0	3.7	6.4	6.5	9.5	0.7	4.6	3.0	2.4
	障害のない高齢者	100.0 (2,872)	17.8	8.6	1.4	7.5	1.5	1.7	0.8	0.1	0.2	0.7	7.7	0.9	37.3	31.2	1.6	3.7	3.7	5.5	0.4	2.3	1.7	1.5

(2) 現在、かかっている傷病の状況（複数回答）－性・年齢階級、動作能力類型別

男女とも、「高血圧症」の割合が最も高く、約3割

現在かかっている傷病を性別で見ると、男性は、「高血圧症」の割合が最も高く 32.2%、次いで「糖尿病」13.5%、「眼の病気」10.7%となっている。女性も「高血圧症」の割合が最も高く 32.3%、次いで「眼の病気」15.6%、「腰痛症」13.6%となっている。

年齢階級別に見ると、どの階級においても「高血圧症」の割合が最も高くなっている（26.7%～37.3%）。「特になし」の割合は、65～69 歳では 28.8%であるが、年齢階級が上がるにつれ低くなり、85 歳以上では 11.2%となっている。

動作能力類型別に見ると、ねたきり高齢者は、「認知症」の割合が最も高く 33.0%となっている。ねたきりに近い高齢者、軽い障害のある高齢者、障害のない高齢者は、「高血圧症」の割合が最も高くなっている(29.8%～36.0%)。比較的重い障害のある高齢者は、「眼の病気」の割合が最も高く 41.2%となっている。(表 3-7)

消化器系	胃・十二指腸の病気	肝臓・胆のうの病気	その他消化器系の病気	歯の病気（虫歯を含む）	皮膚	アトピー性皮膚炎	その他皮膚の病気	筋骨格系	痛風	関節リウマチ	関節症	肩こり症	腰痛症	骨粗しょう症	尿路性器系	腎臓病	前立腺肥大症	閉経期又は閉経後障害（更年期障害等）	損傷	骨折	骨折以外のけが・やけど	貧血・血液の病気	悪性新生物（がん）	その他	特になし	無回答
8.1	3.5	2.6	2.3	10.0	2.8	0.5	2.3	23.6	1.3	1.4	6.6	4.6	11.6	5.5	5.3	1.9	3.4	0.1	2.8	1.9	0.9	1.1	2.8	4.3	19.7	0.8
8.7	3.9	3.1	2.1	10.5	2.9	0.6	2.3	16.3	2.7	0.6	3.6	2.7	9.1	0.7	9.6	1.9	7.8	－	1.6	1.0	0.6	0.9	3.3	3.6	19.8	1.0
7.7	3.2	2.3	2.4	9.6	2.8	0.5	2.4	29.0	0.2	2.0	9.0	6.0	13.6	9.1	2.1	1.8	0.0	0.2	3.7	2.5	1.1	1.3	2.4	4.8	19.7	0.7
6.1	2.1	2.5	1.5	11.9	3.0	0.5	2.5	16.9	1.5	1.2	3.8	5.8	8.3	2.1	3.8	1.4	2.3	0.1	0.5	0.2	0.3	0.8	2.5	3.1	28.8	1.1
9.1	4.1	3.0	2.4	9.5	2.6	0.6	2.1	21.0	1.7	1.2	6.0	4.1	10.0	3.9	4.7	1.4	3.2	0.1	2.3	1.5	0.9	0.6	2.4	4.1	21.5	0.7
9.0	4.2	2.9	2.4	11.1	3.0	0.7	2.3	27.0	1.2	1.7	8.3	4.3	13.7	6.7	6.5	2.3	4.0	0.3	3.0	2.0	1.0	1.1	3.0	4.3	14.4	0.6
8.2	3.5	2.0	3.0	8.2	2.9	0.4	2.4	31.8	0.9	1.3	8.6	4.0	17.3	9.5	6.2	2.0	4.3	0.1	4.6	3.3	1.3	1.2	3.6	5.8	13.5	0.6
8.8	4.1	2.4	2.6	6.0	2.6	0.2	2.4	28.8	0.6	1.9	9.9	3.9	12.3	10.5	7.5	3.4	4.1	－	6.9	5.2	1.7	3.2	2.6	6.0	11.2	1.3
10.1	1.8	4.6	3.7	6.4	2.8	－	2.8	24.8	－	3.7	8.3	1.8	10.1	11.9	8.3	7.3	0.9	－	14.7	11.9	2.8	1.8	4.6	4.6	1.8	－
11.6	4.5	3.1	4.5	13.0	4.8	0.7	4.1	36.6	1.4	3.8	11.0	5.1	19.2	13.0	9.6	4.8	4.5	0.3	11.0	7.9	3.1	3.1	4.5	8.2	3.8	1.4
9.8	4.6	2.4	2.9	13.2	3.8	0.7	3.1	33.8	1.7	1.9	11.8	7.0	19.4	7.4	8.4	3.8	4.6	－	2.9	2.4	0.5	2.4	3.4	6.2	6.2	0.7
10.0	4.1	4.1	2.6	13.6	4.2	0.8	3.5	30.1	1.3	1.0	9.9	5.8	15.0	7.3	6.3	1.9	4.3	0.3	3.3	2.3	1.1	1.1	2.5	4.5	11.6	0.6
6.8	3.1	2.0	1.8	8.0	2.0	0.4	1.6	18.5	1.3	1.1	4.3	3.9	8.7	3.6	4.0	1.0	2.9	0.1	1.3	0.7	0.6	0.7	2.5	3.6	27.1	0.8

(3)　通院・往診の有無－性・年齢階級、動作能力類型別、17 年度調査との比較

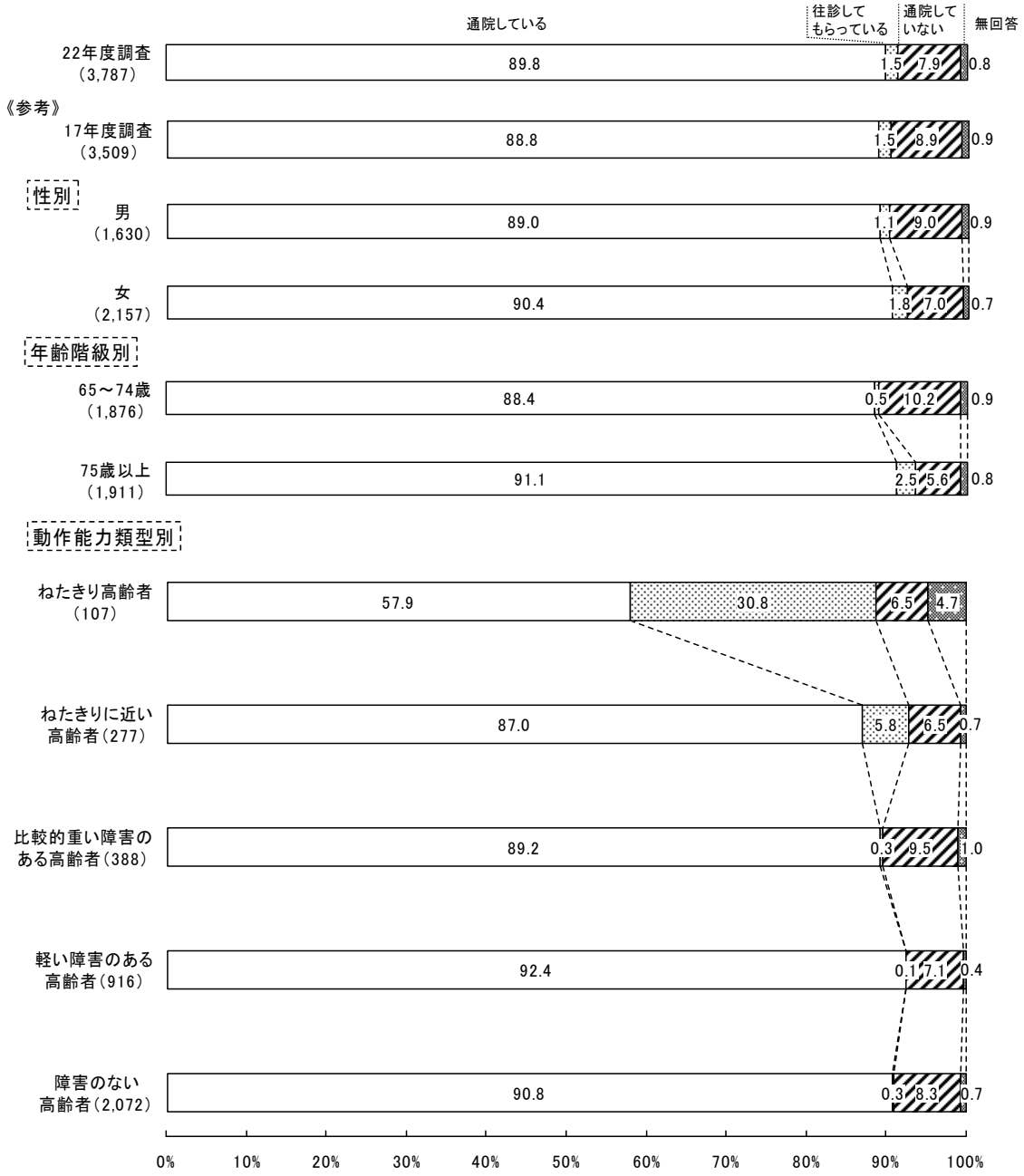
何らかの傷病にかかっている人のうち、「通院している」割合は約 9 割

何らかの傷病にかかっている高齢者（3,787 人）に対して、通院しているかどうかを聞いたところ、「通院している」の割合が最も高く 89.8%、「往診してもらっている」が 1.5%、「通院していない」が 7.9%となっている。

動作能力類型別に見ると、ねたきりの高齢者は、「往診してもらっている」割合が比較的高く、30.8%となっている。（図 3-10）

問　あなたは現在、何らかの傷病のために通院していますか。

図 3-10　通院・往診の有無－性・年齢階級、動作能力類型別、17 年度調査との比較



(4) 通院状況－年齢階級、動作能力類型別

「ひとりで通院している」人の割合が最も高く、84.7%

何らかの傷病にかかって通院している高齢者（3,400 人）に対して、通院状況について聞いたところ、「ひとりで通院している」の割合が最も高く 84.7%、次いで「家族の付き添い」12.7%となっている。

年齢階級別に見ると、年齢階級が上がるにつれて、「家族の付き添い」の割合が高くなり、85 歳以上では、38.6%と約 4 割となっている。

動作能力類型別に見ると、ねたきりの高齢者とねたきりに近い高齢者は、「家族の付き添い」の割合が最も高く、それぞれ 79.0%、78.0%と約 8 割となっている。（図 3-11）

問　あなたの通院状況についてお聞きします。

図 3-11　通院状況－年齢階級、動作能力類型別

		総数	ひとりで通院している	家族の付き添い	友人・知人の付き添い	ヘルパーの付き添い	NPO・区市町村等の移送サービスを利用	その他	無回答
総数		100.0 (3,400)	84.7	12.7	0.3	0.6	0.2	0.3	1.2
年齢階級別	65～69歳	100.0 (780)	92.6	4.9	－	0.3	0.3	－	2.1
	70～74歳	100.0 (879)	91.1	7.2	0.2	0.3	－	0.1	1.0
	75～79歳	100.0 (837)	87.1	11.0	0.2	0.5	－	0.1	1.1
	80～84歳	100.0 (557)	78.3	18.9	0.7	0.9	0.4	0.4	0.5
	85歳以上	100.0 (347)	55.6	38.6	0.6	2.3	0.6	1.4	0.9
動作能力類型別	ねたきり高齢者	100.0 (62)	－	79.0	－	11.3	－	4.8	4.8
	ねたきりに近い高齢者	100.0 (241)	11.6	78.0	2.5	4.1	1.7	0.4	1.7
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (346)	83.8	13.3	0.6	0.9	0.3	0.9	0.3
	軽い障害のある高齢者	100.0 (846)	90.0	8.3	0.2	0.1	0.1	0.2	1.1
	障害のない高齢者	100.0 (1,881)	94.9	3.9	－	0.1	－	－	1.1

(5) 過去１か月の総通院日数－性・年齢階級、動作能力類型別、17 年度調査との比較

「１日以下」の割合が最も高く 55.9%

何らかの傷病にかかって通院している高齢者（3,400 人）に対して、過去１か月に通院した総日数を聞いたところ、「１日以下」の割合が 55.9%で最も高く、次いで「２日」の割合が 19.1%となっている。

17 年度調査と比較すると、「１日以下」の割合が 10.4 ポイント増加している一方、「２日」の割合は 6.1 ポイント減少している。

各分類の平均通院日数を見ると、性別では女性、年齢階級別では 75 歳以上、動作能力類型別ではねたきりに近い高齢者、比較的重い障害のある高齢者、軽い障害のある高齢者がそれぞれ総数に比べ高くなっている。また 17 年度調査と比較すると、平均通院日数は 0.49 日減少している。(表 3-8)

問　過去１か月の総通院日数は何日ですか。

表 3-8　過去１か月の総通院日数－性・年齢階級、動作能力類型別、17 年度調査との比較

		総数	1日以下	2日	3日	4日	5日	6～10日	11～15日	16～20日	21日以上	無回答	平均
総数		100.0 (3,400)	55.9	19.1	6.2	5.1	2.2	4.7	3.2	1.0	0.5	2.0	2.56
性別	男	100.0 (1,450)	60.3	17.7	6.3	3.8	2.3	3.8	2.9	0.6	0.1	2.1	2.23
	女	100.0 (1,950)	52.7	20.2	6.1	6.2	2.1	5.3	3.5	1.4	0.8	1.8	2.81
年齢階級別	65～69歳	100.0 (780)	62.3	15.8	5.1	5.1	2.3	2.6	2.8	0.5	－	3.5	2.09
	70～74歳	100.0 (879)	60.2	18.0	5.6	3.5	1.8	4.6	3.4	0.8	0.2	1.9	2.38
	75～79歳	100.0 (837)	51.1	22.1	6.7	4.8	3.0	5.6	3.6	1.1	0.6	1.4	2.74
	80～84歳	100.0 (557)	49.9	20.3	7.5	7.0	1.4	5.9	3.2	2.3	1.1	1.3	3.09
	85歳以上	100.0 (347)	52.2	20.2	6.6	7.2	2.3	5.5	2.9	0.6	1.4	1.2	2.77
動作能力類型別	ねたきり高齢者	100.0 (62)	58.1	9.7	6.5	6.5	3.2	8.1	6.5	－	－	1.6	2.84
	ねたきりに近い高齢者	100.0 (241)	43.6	22.8	9.1	6.2	2.1	5.4	5.0	1.7	2.1	2.1	3.48
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (346)	44.5	21.1	10.7	4.9	2.3	7.5	4.9	0.9	0.3	2.9	3.02
	軽い障害のある高齢者	100.0 (846)	49.2	19.5	7.9	5.8	3.5	6.3	3.5	1.4	0.8	2.0	3.00
	障害のない高齢者	100.0 (1,881)	62.8	18.4	4.2	4.6	1.6	3.2	2.4	0.9	0.3	1.6	2.15
17年度調査		100.0 (3,116)	45.5	25.2	6.8	7.3	2.5	5.9	2.8	1.9	1.2	1.0	3.05

(6)　かかりつけ医の有無－性・年齢階級、動作能力類型別、17 年度調査との比較

年齢階級が上がるにつれて、かかりつけ医が「いる」割合は高くなり、85 歳以上では 9 割超

かかりつけ医の有無を聞いたところ、「いる」は 83.3％で、「いない」は 16.3％であった。

年齢階級別に見ると、年齢階級が上がるにつれて「いる」の割合は高くなり、85 歳以上は 92.5％で 9 割を超えている。(図 3-12)

問　現在、かかりつけ医はいますか。

図 3-12　かかりつけ医の有無－性・年齢階級、動作能力類型別、17 年度調査との比較

5　健康のために気をつけていること

(1)　健康のために気をつけていること

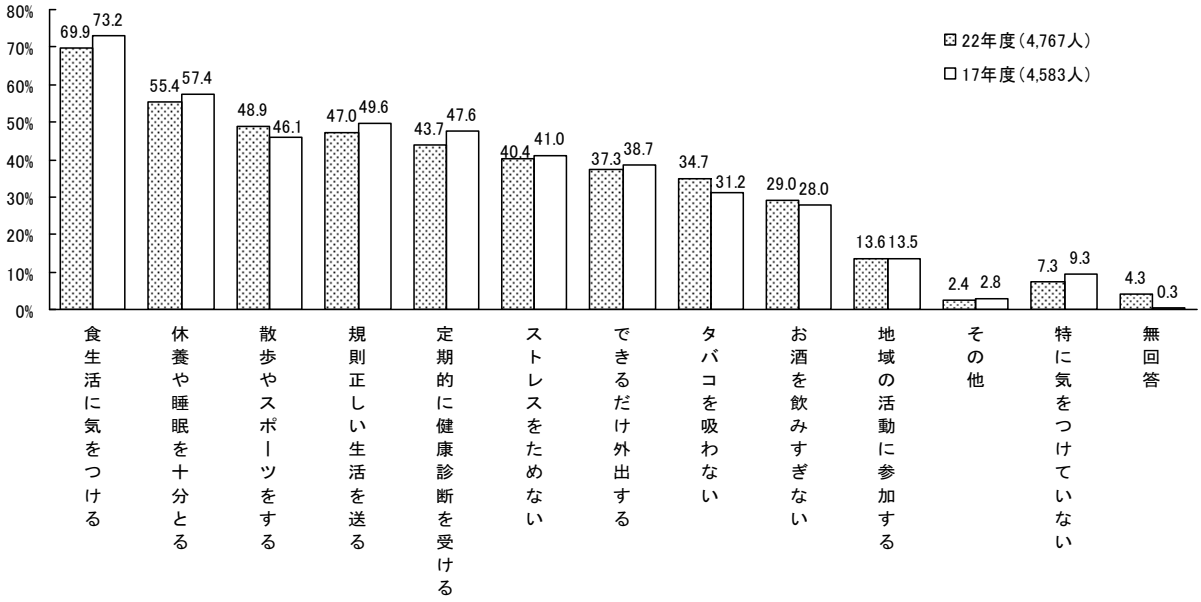
健康のために気をつけていることは、「食生活に気をつける」の割合が最も高く、約７割

健康のために気をつけていることを聞いたところ、「食生活に気をつける」の割合が最も高く、69.9％で約７割となっている。

17 年度調査と比べると、「タバコを吸わない」が 3.5 ポイント、「散歩やスポーツをする」が 2.8 ポイント増加している。一方で、「定期的に健康診断を受ける」が 3.9 ポイント減少している。(図 3-13)

問　あなたが健康の維持増進のために気をつけているのはどのようなことですか。

図 3-13　健康のために気をつけていること（複数回答）－17 年度調査との比較



(2) 健康のために気をつけていること－性・年齢階級別

「お酒を飲み過ぎない」「タバコを吸わない」の割合は、女性（22.2%、29.1%）より男性（37.9%、42.0%）の方が高くなっている

性別で見ると、「お酒を飲み過ぎない」「タバコを吸わない」の割合が、女性は、それぞれ 22.2%、29.1%であるのに対し、男性は、それぞれ 37.9%、42.0%と女性より男性の方が 10 ポイント以上高くなっている。

年齢階級別に見ると、「散歩やスポーツをする」の割合が、前期高齢者（65～74 歳）は 55.7%であるのに対し、後期高齢者（75 歳以上）は 41.1%で、14.6 ポイント低くなっている。(表 3-9)

表 3-9 健康のために気をつけていること（複数回答）－性・年齢階級別

		総数	食生活に気をつける	休養や睡眠を十分とる	ストレスをためない	規則正しい生活を送る	散歩やスポーツをする	できるだけ外出をする	地域の活動に参加する	定期的に健康診断を受ける	お酒を飲み過ぎない	タバコを吸わない	その他	特に気をつけていない	無回答
総数		100.0 (4,767)	69.9	55.4	40.4	47.0	48.9	37.3	13.6	43.7	29.0	34.7	2.4	7.3	4.3
性別	男	100.0 (2,057)	65.3	54.0	37.6	44.2	51.5	34.8	13.4	43.5	37.9	42.0	1.6	8.7	3.7
	女	100.0 (2,710)	73.5	56.4	42.6	49.1	46.9	39.3	13.7	43.8	22.2	29.1	3.1	6.3	4.7
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	72.7	56.1	43.6	47.0	55.7	39.7	14.8	45.2	30.8	35.8	1.7	7.2	1.7
	75歳以上	100.0 (2,226)	66.8	54.5	36.7	46.9	41.1	34.6	12.2	41.9	26.9	33.4	3.2	7.4	7.3

6　食事の状況

(1)　食事の状況

普段の食事の用意は、「3 食とも自分が料理する」の割合が最も高く、約 5 割

普段の食事（直近 3 日間）の状況について聞いたところ、3 食（朝食、昼食、夕食）の用意の仕方が 3 日間とも同じ人の割合が最も高く 78.3%となっている。(図 3-14)

3 食（朝食、昼食、夕食）の用意の仕方が 3 日間とも同じ人（3,732 人）のうち、最も割合が高かったのは、「3 食とも自分が料理する」で 48.5%、次いで「3 食とも配偶者が料理する」が 24.8%となっている。(図 3-15)

問　あなたの普段の食事の状況について、お聞きします。食事の用意等は主にどのようにしていますか。

図 3-14　食事の状況(3 食のパターン)

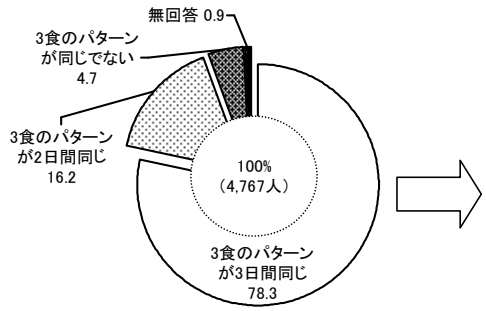
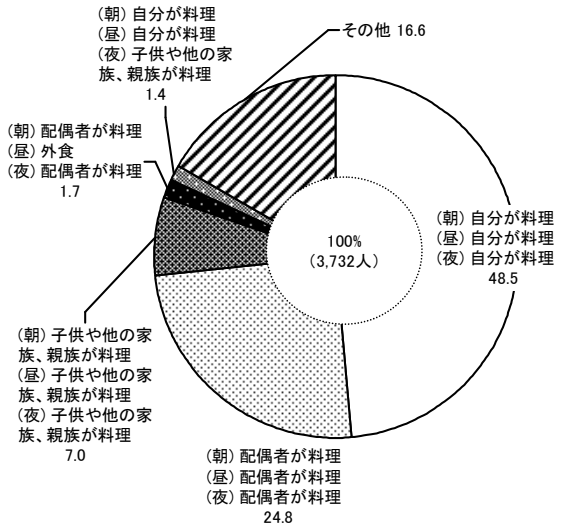


図 3-15　食事の状況(3 食のパターンが 3 日間同じ)



(2) 食事の状況（3 食のパターンが 3 日間同じ）上位 10 位－性・年齢階級別

男性は、「3 食とも配偶者が料理する」の割合が最も高く約 4 割、女性は「3 食とも自分が料理する」が最も高く、約 6 割

3 食（朝食、昼食、夕食）の用意の仕方が 3 日間とも同じ人について、用意の仕方を性別に見ると、男性は、「3 食とも配偶者が料理する」の割合が最も高く 43.6%、女性は「3 食とも自分が料理する」が最も高く 59.2%となっている。

年齢階級別に見ると、男性は、「配偶者が料理する」の割合がどの年齢階級においても最も高くなっている(37.9%～49.8%)。女性は 65～74 歳、75～84 歳の年齢階級は、「自分が料理する」の割合が最も高くなっている(66.0%、59.5%)が、85 歳以上は、「子供や他の家族、親族が料理する」が最も高く 31.4%となっている。(表 3-10)

表 3-10 食事の状況（3 食のパターンが 3 日間同じ）上位 10 位－性・年齢階級別

		総数	3食のパターンが3日間同じ	朝）自分が料理－昼）自分が料理－夜）自分が料理	朝）配偶者が料理－昼）配偶者が料理－夜）配偶者が料理	朝）子供や他の家族、親族が料理－昼）子供や他の家族、親族が料理－夜）子供や他の家族、親族が料理	朝）配偶者が料理－昼）外食－夜）配偶者が料理	朝）自分が料理－昼）自分が料理－夜）子供や他の家族、親族が料理	朝）自分が料理－昼）外食－夜）自分が料理	朝）スーパー・コンビニ等で惣菜、インスタント食品等を購入－昼）スーパー・コンビニ等で惣菜、インスタント食品等を購入－夜）スーパー・コンビニ等で惣菜、インスタント食品等を購入	朝）配偶者が料理－昼）自分が料理－夜）配偶者が料理	朝）自分が料理－昼）配偶者が料理－夜）配偶者が料理	朝）その他－昼）その他－夜）その他	朝）自分が料理－昼）自分が料理－夜）配偶者が料理	左記以外のパターン	3食のパターンが同じでない	無回答
総数		100.0 (4,767)	78.3	38.0	19.4	5.5	1.3	1.1	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	8.5	20.8	0.9
性・年齢階級別	男	100.0 (2,057)	78.8	10.0	43.6	3.6	3.1	0.4	1.0	1.2	1.6	1.5	0.7	1.3	10.9	20.5	0.8
	65～74歳	100.0 (1,191)	75.6	10.1	40.6	1.7	4.0	0.3	1.2	0.9	2.0	1.4	0.4	1.6	11.3	23.4	1.0
	75～84歳	100.0 (713)	82.0	10.2	49.8	4.6	2.1	0.6	0.7	0.8	1.0	1.7	0.8	1.1	8.6	17.7	0.3
	85歳以上	100.0 (153)	88.2	7.8	37.9	14.4	－	－	0.7	4.6	0.7	0.7	2.6	－	19.0	10.5	1.3
	女	100.0 (2,710)	77.9	59.2	1.1	6.9	－	1.6	0.7	0.5	0.1	0.1	0.7	0.2	6.8	21.1	1.0
	65～74歳	100.0 (1,350)	76.8	66.0	1.3	1.7	－	1.0	1.0	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	4.7	22.1	1.0
	75～84歳	100.0 (1,048)	79.2	59.5	0.9	6.2	－	2.2	0.5	0.8	0.2	0.2	1.0	0.1	7.7	20.1	0.7
	85歳以上	100.0 (312)	78.5	28.8	0.6	31.4	－	2.2	－	1.0	0.3	－	1.9	－	12.2	19.9	1.6

（注）性・年齢階級別の内訳は、総数の上位 10 位とクロス集計したため、必ずしも各階級の上位 10 位とは一致しない。

(3) 食事の状況（3 食のパターンが 3 日間同じ）上位 10 位－配偶者の有無、世帯類型別

配偶者ありの男性は、「配偶者が料理する」の割合が最も高く 52.9%、配偶者ありの女性は、「自分が料理する」が最も高く、66.4%

3 食（朝食、昼食、夕食）の用意の仕方が 3 日間とも同じ人について、用意の仕方を配偶者の有無別に見ると、配偶者ありの男性は、「配偶者が料理する」の割合が最も高く 52.9%、配偶者ありの女性は、「自分が料理する」が最も高く 66.4%となっている。

配偶者なしの場合、未婚、死別、離別いずれも「自分が料理する」の割合が最も高くなっている(46.5%～51.0%)。「子供や他の家族、親族が料理する」の割合は、死別では 15.2%で、未婚、離別に比べて高くなっている。(表 3-11)

表 3-11 食事の状況（3 食のパターンが 3 日間同じ）上位 10 位－配偶者の有無、世帯類型別

		総数	3食のパターンが3日間同じ	(朝)自分が料理 (昼)自分が料理 (夜)自分が料理	(朝)配偶者が料理 (昼)配偶者が料理 (夜)配偶者が料理	(朝)子供や他の家族、親族が料理 (昼)子供や他の家族、親族が料理 (夜)子供や他の家族、親族が料理	(朝)配偶者が料理 (昼)外食 (夜)配偶者が料理	(朝)自分が料理 (昼)自分が料理 (夜)子供や他の家族、親族が料理	(朝)自分が料理 (昼)外食 (夜)自分が料理	(朝)スーパー・コンビニ等で惣菜、インスタント食品等を購入 (昼)スーパー・コンビニ等で惣菜、インスタント食品等を購入 (夜)スーパー・コンビニ等で惣菜、インスタント食品等を購入	(朝)配偶者が料理 (昼)自分が料理 (夜)配偶者が料理	(朝)自分が料理 (昼)配偶者が料理 (夜)配偶者が料理	(朝)その他 (昼)その他 (夜)その他	(朝)自分が料理 (昼)自分が料理 (夜)配偶者が料理	左記以外のパターン	3食のパターンが同じでない	無回答
総数		100.0 (4,767)	78.3	38.0	19.4	5.5	1.3	1.1	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	8.5	20.8	0.9
配偶者の有無別	配偶者あり	100.0 (3,039)	78.5	32.4	30.5	1.7	2.1	0.4	0.5	0.4	1.2	1.1	0.5	1.1	6.6	20.7	0.7
	男	100.0 (1,696)	78.7	5.5	52.9	1.9	3.7	0.2	0.4	0.5	1.9	1.8	0.6	1.6	7.7	20.8	0.5
	女	100.0 (1,343)	78.3	66.4	2.2	1.6	－	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4	5.2	20.6	1.0
	配偶者なし	100.0 (1,716)	78.0	47.7	－	12.1	－	－	1.3	1.5	－	－	1.2	－	14.2	20.9	1.0
	未婚	100.0 (243)	77.8	46.5	－	5.8	－	－	1.2	3.7	－	－	2.1	－	18.5	21.0	1.2
	死別	100.0 (1,212)	78.8	47.3	－	15.2	－	3.0	1.0	1.2	－	－	1.0	－	10.2	20.4	0.8
	離別	100.0 (261)	74.7	51.0	－	3.8	－	1.1	3.1	0.8	－	－	1.1	－	13.8	23.4	1.9
世帯類型別	高齢者のみ世帯	100.0 (2,634)	77.4	42.1	19.3	1.9	0.9	0.4	1.1	0.9	0.6	0.6	0.9	0.5	8.0	21.6	0.9
	ひとり暮らし	100.0 (899)	75.0	53.9	－	2.1	－	0.7	2.1	2.0	－	－	1.8	－	12.3	23.4	1.7
	高齢者夫婦のみ	1611.0 (1,611)	78.8	36.4	30.7	0.2	1.5	0.2	0.7	0.4	0.9	1.0	0.6	0.7	5.5	20.7	0.5
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	77.4	30.6	10.5	23.4	0.8	0.8	－	0.8	－	－	－	－	10.5	21.8	0.8
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	79.0	32.8	19.6	9.9	1.8	1.9	0.4	0.6	1.0	0.9	0.3	0.9	8.7	20.2	0.7
	その他の世帯	100.0 (84)	81.0	35.7	13.1	8.3	2.4	1.2	－	－	－	－	2.4	1.2	16.7	17.9	1.2

(注) 配偶者の有無別、世帯類型別の内訳は、総数の上位 10 位とクロス集計したため、必ずしも各階級の上位 10 位とは一致しない。

第 4 章　介護保険制度

1　要介護認定の申請の有無

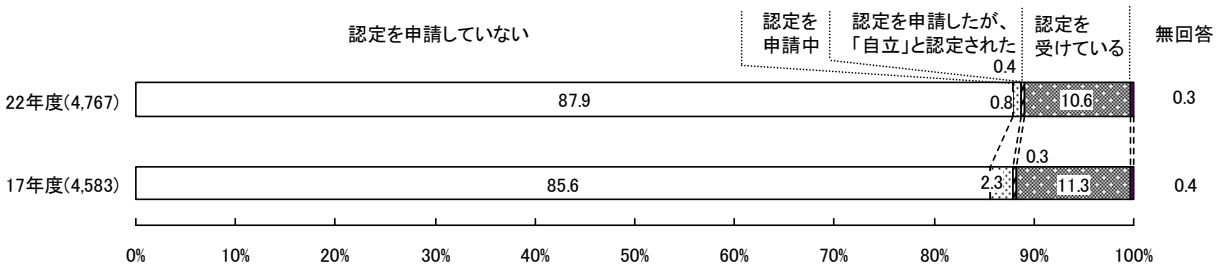
(1)　要介護認定の申請の有無

「認定を申請していない」人の割合は、約 9 割

介護保険制度の要介護認定を受けているかどうか聞いたところ、「認定を申請していない」の割合は 87.9%、「認定を受けている」は 10.6%となっている。(図 4-1)

問　あなたは現在、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。

図 4-1　要介護認定の申請の有無



第2第4章

(2) 要介護認定の申請の有無－性・年齢階級、動作能力類型、世帯類型別

男女とも年齢階級が上がるにつれて、「認定を受けている」割合は高くなっている

介護保険制度の要介護認定を受けているかについて、性・年齢階級別に見ると、男女とも年齢階級が上がるにつれて、「認定を受けている」割合が高くなっている（2.6%～30.7%、2.9%～49.0%）。

動作能力類型別に見ると、ねたきり等の高齢者では、「認定を受けている」の割合が 74.6%である一方、「認定を申請していない」も 20.9%で 2 割を超えている。（表 4-1）

表 4-1 要介護認定の申請の有無－性・年齢階級、動作能力類型、世帯類型別

		総数	認定を申請していない	認定を申請中	認定を申請したが、「自立」と認定された	認定を受けている	無回答
総数		100.0 (4,767)	87.9	0.8	0.4	10.6	0.3
性・年齢階級別	男	100.0 (2,057)	91.7	0.8	0.1	7.0	0.4
	65～74歳	100.0 (1,191)	96.4	0.4	0.1	2.6	0.5
	75～84歳	100.0 (713)	89.3	1.0	0.1	9.3	0.3
	85歳以上	100.0 (153)	66.0	2.6	0.7	30.7	－
	75歳以上（再掲）	100.0 (866)	85.2	1.3	0.2	13.0	0.2
	女	100.0 (2,710)	85.0	0.9	0.7	13.3	0.1
	65～74歳	100.0 (1,350)	96.1	0.4	0.4	2.9	0.1
	75～84歳	100.0 (1,048)	81.4	1.0	1.2	16.1	0.2
	85歳以上	100.0 (312)	48.7	2.2	－	49.0	－
	75歳以上（再掲）	100.0 (1,360)	73.9	1.3	1.0	23.7	0.1
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (401)	20.9	3.5	0.5	74.6	0.5
	ねたきり高齢者	100.0 (109)	1.8	1.8	－	96.3	－
	ねたきりに近い高齢者	100.0 (292)	28.1	4.1	0.7	66.4	0.7
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (417)	82.7	1.4	1.2	14.1	0.5
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,043)	89.5	1.1	0.5	8.6	0.3
	障害のない高齢者	100.0 (2,872)	97.5	0.3	0.3	1.8	0.1
世帯類型別	高齢者のみ世帯	100.0 (2,634)	87.6	1.1	0.3	10.8	0.2
	ひとり暮らし	100.0 (899)	83.9	1.0	0.7	14.0	0.4
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,611)	90.9	1.0	0.1	7.9	0.1
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	71.0	2.4	0.8	25.0	0.8
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	88.4	0.5	0.5	10.4	0.2
	その他の世帯	100.0 (84)	86.9	2.4	1.2	9.5	－
≪参考≫17年度調査	総数	100.0 (4,583)	85.6	2.3	0.3	11.3	0.4
	男	100.0 (2,052)	89.0	2.0	0.3	8.4	0.2
	女	100.0 (2,531)	82.9	2.6	0.4	13.7	0.5

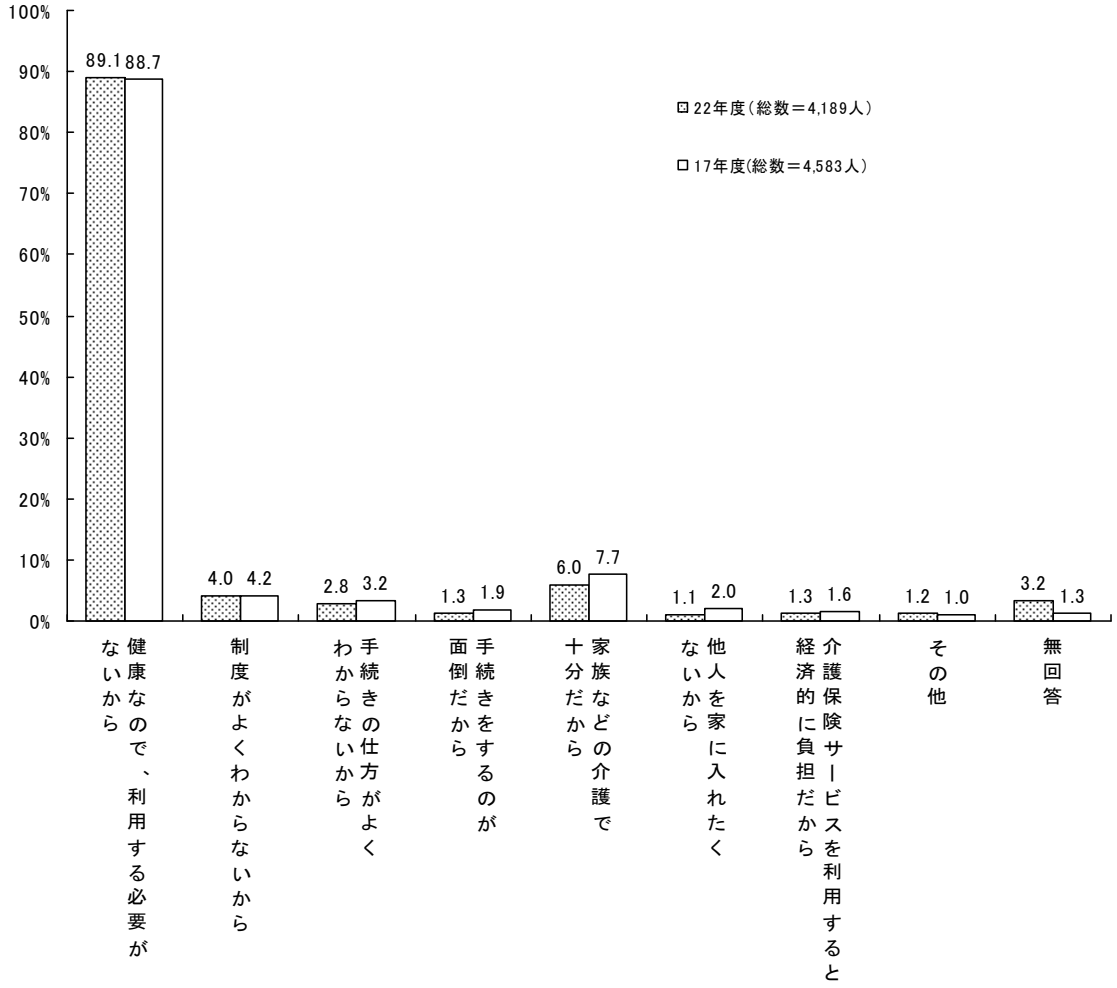
(3)　要介護認定を申請しない理由（複数回答）－17 年度調査との比較

「健康なので、利用する必要がないから」の割合が最も高く、約 9 割

要介護認定を申請していない人(4,189 人)に、申請しない理由を聞いたところ、「健康なので、利用する必要がないから」が 89.1%で、約 9 割となっている。(図 4-2)

問　介護保険制度の要介護認定を申請していない理由は何ですか。

図 4-2　要介護認定を申請しない理由(複数回答)－17 年度調査との比較



(4) 要介護認定を申請しない理由（複数回答）－性・年齢階級、動作能力類型別

85 歳以上では「家族等の介護で十分だから」の割合が、他の年齢階級と比較して高くなっている

要介護認定を申請しない理由を年齢階級別に見ると、85 歳以上では「家族等の介護で十分だから」の割合が 17.0%で、他の年齢階級の割合（3.8%、7.9%）と比較して高くなっている。

動作能力類型別に見ると、ねたきり等の高齢者を除き、「健康なので、利用する必要がないから」の割合が最も高くなっている(76.2%～95.1%)。ねたきり等の高齢者は、「家族等の介護で十分だから」の割合が最も高く、44.0%となっている。(表 4-2)

表 4-2 要介護認定を申請しない理由（複数回答）－性・年齢階級、動作能力類型別

		総数	健康なので、利用する必要がないから	制度がよくわからないから	手続きの仕方がよくわからないから	手続きするのが面倒だから	家族等の介護で十分だから	他人を家に入れたくないから	介護保険サービスを利用すると経済的に負担だから	その他	無回答
総数		100.0 (4,189)	89.1	4.0	2.8	1.3	6.0	1.1	1.3	1.2	3.2
性別	男	100.0 (1,886)	88.6	3.9	2.7	1.2	6.2	0.6	1.2	1.2	3.8
	女	100.0 (2,303)	89.6	4.0	2.9	1.4	5.8	1.4	1.5	1.3	2.7
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,446)	91.7	3.9	2.5	0.9	3.6	0.7	1.2	0.9	3.1
	75～84歳	100.0 (1,490)	87.1	4.0	3.2	1.6	7.9	1.2	1.5	1.7	2.8
	85歳以上	100.0 (253)	76.7	4.7	4.0	2.8	17.0	3.2	1.6	1.2	6.3
	75歳以上(再掲)	100.0 (1,743)	85.6	4.1	3.3	1.8	9.2	1.5	1.5	1.7	3.3
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (84)	17.9	8.3	9.5	3.6	44.0	10.7	6.0	9.5	19.0
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (345)	76.2	7.8	4.9	2.9	11.0	1.4	4.3	3.2	5.2
	軽い障害のある高齢者	100.0 (934)	83.2	4.9	4.4	1.7	8.0	1.2	1.8	2.4	4.6
	障害のない高齢者	100.0 (2,800)	95.1	3.0	1.8	0.9	3.5	0.6	0.7	0.4	1.9

2　要介護度及び介護の状況

(1)　要介護度－性・年齢階級、動作能力類型、世帯類型別

男性は「要介護２」の割合が最も高く、女性は「要支援１」の割合が最も高い

要介護認定を受けている人（505 人）に要介護度について聞いたところ、「要支援１」の割合が最も高く 22.0%、次いで「要介護２」が 18.0%、「要支援２」が 17.6%となっている。

性別に見ると、男性は「要介護２」の割合が最も高く 24.3%、女性は「要支援１」の割合が最も高く 21.9%となっている。（表 4-3）

問　現在の要介護度はいくつですか。

表 4-3　要介護度－性・年齢階級別、動作能力類型、世帯類型別

		総数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
総数		100.0 (505)	22.0	17.6	15.6	18.0	11.5	7.9	5.7	1.6
性別	男	100.0 (144)	22.2	14.6	12.5	24.3	9.7	11.8	3.5	1.4
	女	100.0 (361)	21.9	18.8	16.9	15.5	12.2	6.4	6.6	1.7
年齢階級別	65～74歳	100.0 (70)	20.0	18.6	14.3	22.9	7.1	5.7	8.6	2.9
	75～84歳	100.0 (235)	24.7	19.6	17.0	17.9	6.4	8.5	3.8	2.1
	85歳以上	100.0 (200)	19.5	15.0	14.5	16.5	19.0	8.0	7.0	0.5
	75歳以上(再掲)	100.0 (435)	22.3	17.5	15.9	17.2	12.2	8.3	5.3	1.4
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (299)	7.4	11.7	15.1	23.7	18.4	12.7	9.7	1.3
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (59)	37.3	27.1	18.6	13.6	－	3.4	－	－
	軽い障害のある高齢者	100.0 (90)	45.6	27.8	13.3	8.9	1.1	－	－	3.3
	障害のない高齢者	100.0 (53)	47.2	20.8	20.8	5.7	3.8	－	－	1.9
世帯類型別	高齢者のみ世帯	100.0 (284)	28.5	20.4	15.1	16.9	8.8	6.0	2.5	1.8
	ひとり暮らし	100.0 (126)	34.9	27.8	15.9	6.3	9.5	1.6	2.4	1.6
	高齢者夫婦のみ	100.0 (127)	23.6	15.7	13.4	27.6	5.5	10.2	2.4	1.6
	その他の高齢者のみ	100.0 (31)	22.6	9.7	19.4	16.1	19.4	6.5	3.2	3.2
	高齢者のみでない世帯	100.0 (209)	13.4	13.9	15.8	20.1	14.8	10.5	10.0	1.4
	その他の世帯	100.0 (8)	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	－	12.5	－

《参考》17年度調査

	総数	認定を申請中	非該当（自立）	要支援	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	無回答
総数	100.0 (650)	16.2	2.5	19.4	28.8	15.5	7.5	6.0	2.8	1.4

(2) 主に介護をしている人、手伝っている人

主に介護をしている人は「子供」の割合が最も高く約 3 割、介護を手伝っている人は「ホームヘルパー」の割合が最も高く、約 2 割

要介護認定を受けている人（505 人）で、「介護を受けている」は 86.3%、「介護は受けていない」は 12.5%となっている。(図 4-3)

介護を受けている人（436 人）に、主に介護をしている人は誰か聞いたところ、「子供」の割合が最も高く 33.9%、次いで「配偶者」が 28.7%となっている。(図 4-4)

さらに、介護を手伝っている人は誰か聞いたところ、「ホームヘルパー」の割合が最も高く 19.7%、次いで「子供」17.7%となっている。「手伝っている人はいない」の割合は、35.3%となっている。(図 4-5)

問　あなたの介護をしている方は誰ですか。

図 4-3　介護の有無

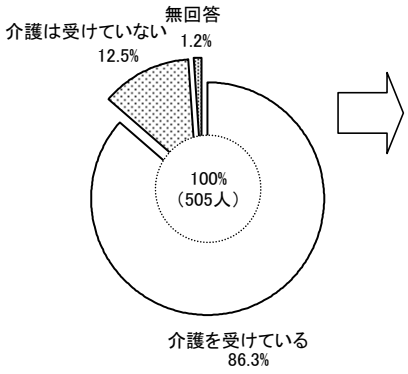


図 4-4　主に介護をしている人

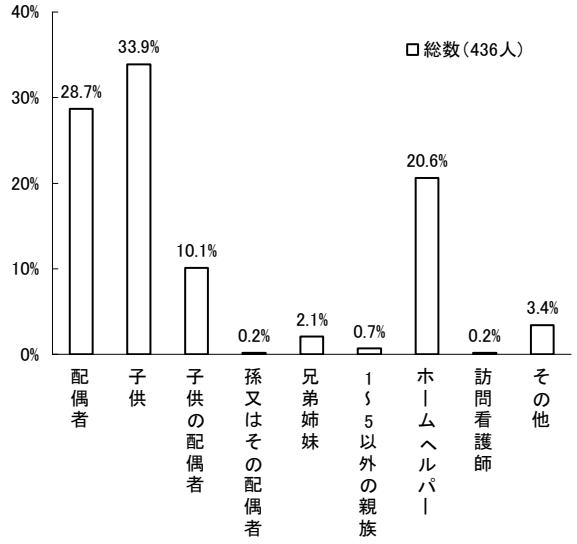
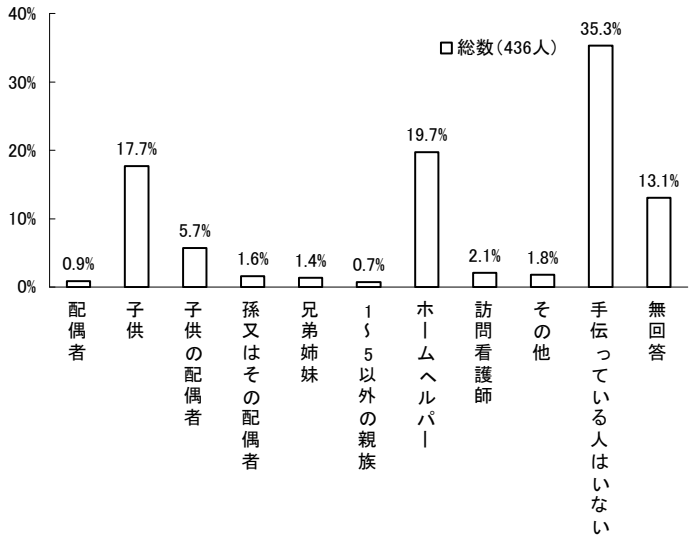


図 4-5　介護を手伝っている人



（注）図 4-3 の介護の有無は、図 4-4 で「主に介護をしている人」がいる人について、「介護を受けている」として、集計した。

(3) 主に介護をしている人－性・年齢階級、配偶者の有無、世帯類型別

男性は「配偶者」から介護を受けている割合が最も高く約 6 割、女性は「子供」から介護を受けている割合が最も高く約 4 割

要介護認定を受けている人のうち、介護を受けている人（436 人）が誰から主に介護を受けているかを、介護を受けている人の性・年齢階級別に見ると、男性は、「配偶者」の割合が最も高く 61.8%、次いで「ホームヘルパー」17.1%、「子供」9.8%となっている。女性は、「子供」の割合が最も高く 43.5%、次いで「ホームヘルパー」22.0%、「配偶者」15.7%となっている。

世帯類型別に見ると、ひとり暮らしの人は、「ホームヘルパー」の割合が最も高く 60.8%となっている。(表 4-4)

表 4-4 主に介護をしている人－性・年齢階級、配偶者の有無、世帯類型別

		総数	配偶者	子供	子供の配偶者	孫又はその配偶者	兄弟姉妹	1～5以外の親族	ホームヘルパー	訪問看護師	その他
総数		100.0 (436)	28.7	33.9	10.1	0.2	2.1	0.7	20.6	0.2	3.4
性・年齢階級別	男	100.0 (123)	61.8	9.8	5.7	0.0	0.8	0.8	17.1	0.8	3.3
	65～74歳	100.0 (22)	68.2	4.5	－	－	4.5	－	18.2	－	4.5
	75～84歳	100.0 (62)	72.6	6.5	6.5	－	－	1.6	9.7	1.6	1.6
	85歳以上	100.0 (39)	41.0	17.9	7.7	－	－	－	28.2	－	5.1
	75歳以上(再掲)	100.0 (101)	60.4	10.9	6.9	－	－	1.0	16.8	1.0	3.0
	女	100.0 (313)	15.7	43.5	11.8	0.3	2.6	0.6	22.0	－	3.5
	65～74歳	100.0 (36)	44.4	16.7	－	－	2.8	－	30.6	－	5.6
	75～84歳	100.0 (134)	21.6	36.6	6.7	－	3.0	0.7	27.6	－	3.7
	85歳以上	100.0 (143)	2.8	56.6	19.6	0.7	2.1	0.7	14.7	－	2.8
	75歳以上(再掲)	100.0 (277)	11.9	46.9	13.4	0.4	2.5	0.7	20.9	－	3.2
配偶者の有無別	配偶者あり	100.0 (177)	70.6	9.6	4.5	－	0.6	－	11.9	0.6	2.3
	男	100.0 (97)	78.4	6.2	4.1	－	－	－	8.2	1.0	2.1
	女	100.0 (80)	49.0	11.0	4.0	－	1.0	－	13.0	－	2.0
	配偶者なし	100.0 (257)	－	50.6	14.0	0.4	3.1	1.2	26.5	－	4.3
	未婚	100.0 (23)	－	－	－	－	21.7	13.0	56.5	－	8.7
	死別	100.0 (215)	－	56.7	15.3	0.5	0.9	－	23.7	－	2.8
	離別	100.0 (19)	－	42.1	15.8	－	5.3	－	21.1	－	15.8
世帯類型別	高齢者のみ世帯	100.0 (242)	37.6	16.5	3.3	－	3.7	－	33.1	0.4	5.4
	ひとり暮らし	100.0 (102)	－	24.5	1.0	－	2.0	－	60.8	－	11.8
	高齢者夫婦のみ	100.0 (111)	81.1	2.7	1.8	－	－	－	12.6	0.9	0.9
	その他の高齢者のみ	100.0 (29)	3.4	41.4	17.2	－	24.1	－	13.8	－	－
	高齢者のみでない世帯	100.0 (184)	17.9	58.2	18.5	0.5	－	－	3.8	－	1.1

(注)「世帯類型別」のうち、「その他の世帯」については、母集団が 7 人のため省略した。

(4) 主に介護をしている人－動作能力類型、要介護度別

ねたきり高齢者、ねたきりに近い高齢者は、「子供」から介護を受けている割合が最も高く、それぞれ 45.7%、38.3%

要介護認定を受けている人のうち、介護を受けている人（436 人）が誰から主に介護を受けているかを、介護を受けている人の動作能力類型別に見ると、ねたきり高齢者、ねたきりに近い高齢者は、「子供」の割合が最も高くそれぞれ 45.7%、38.3%となっている。(表 4-5)

表 4-5 主に介護をしている人－動作能力類型、要介護度別

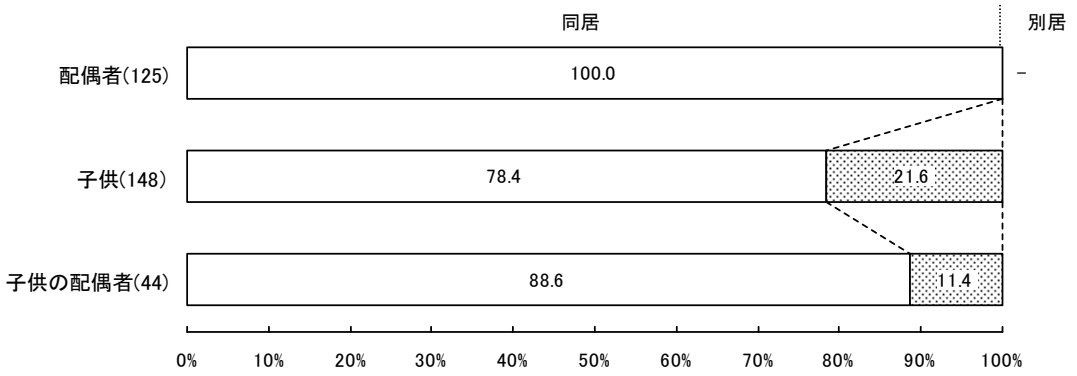
		総数	配偶者	子供	子供の配偶者	孫又はその配偶者	兄弟姉妹	1～5以外の親族	ホームヘルパー	訪問看護師	その他
総数		100.0 (436)	28.7	33.9	10.1	0.2	2.1	0.7	20.6	0.2	3.4
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (293)	33.4	41.0	10.9	0.3	2.4	0.3	7.5	0.3	3.8
	ねたきり高齢者	100.0 (105)	27.6	45.7	15.2	－	2.9	－	2.9	－	5.7
	ねたきりに近い高齢者	100.0 (188)	36.7	38.3	8.5	0.5	2.1	0.5	10.1	0.5	2.7
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (43)	16.3	23.3	14.0	－	2.3	4.7	37.2	－	2.3
	軽い障害のある高齢者	100.0 (65)	16.9	23.1	6.2	－	1.5	－	47.7	－	4.6
	障害のない高齢者	100.0 (32)	21.9	9.4	3.1	－	0.0	－	65.6	－	－
要介護度別	要支援1	100.0 (80)	22.5	17.5	7.5	－	2.5	－	47.5	－	2.5
	要支援2	100.0 (71)	26.8	25.4	7.0	1.4	－	－	33.8	1.4	4.2
	要介護1	100.0 (65)	24.6	38.5	7.7	－	6.2	3.1	15.4	－	4.6
	要介護2	100.0 (87)	40.2	35.6	9.2	－	1.1	1.1	12.6	－	－
	要介護3	100.0 (58)	17.2	51.7	19.0	－	－	－	8.6	－	3.4
	要介護4	100.0 (39)	43.6	41.0	5.1	－	5.1	－	－	－	5.1
	要介護5	100.0 (29)	27.6	44.8	24.1	－	－	－	3.4	－	－

(5)　主に介護をしている人の同居の有無

主に介護をしている人が子供の場合、「同居」約 8 割、「別居」約 2 割

主に介護をしている人が、配偶者、子供、子供の配偶者、孫又はその配偶者、兄弟姉妹、その他の親族である人（330 人）に、同居の有無を聞いたところ、主に介護をしている人が子供の場合、「同居」の割合は 78.4%、「別居」の割合は 21.6%となっている。(図 4-6)

図 4-6　主に介護をしている人の同居の有無



（注）母集団が「孫又はその配偶者」は 1 人、「兄弟姉妹」は 9 人、「その他親族」は 3 人のため省略した。

(6)　主に介護をしている人から介護を受けている日数、時間

日数は「7 日」の割合が最も高く約 6 割、時間は「3 時間未満」の割合が最も高く約 4 割

介護を受けている人（436 人）に、主に介護を受けている人から、およそ 1 週間で介護を受けている日数と 1 日あたり介護を受けている時間を聞いたところ、介護を受けている日数は、「7 日」の割合が最も高く（58.9%）、次いで「1 日」（13.5%）となっている。（図 4-7）

介護を受けている時間は、「3 時間未満」の割合が最も高く（40.1%）、次いで「3 時間以上 6 時間未満」（19.0%）となっている。（図 4-8）

図 4-7　主に介護をしている人から介護を受けている日数

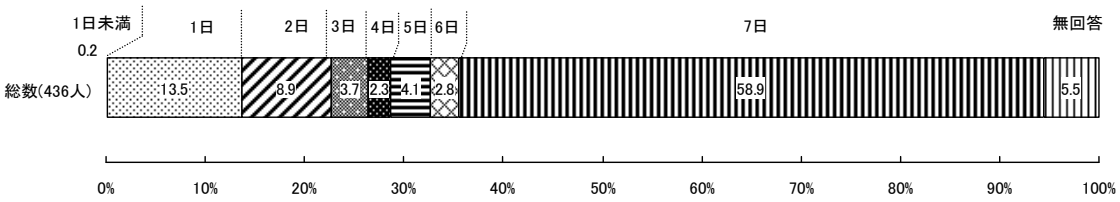
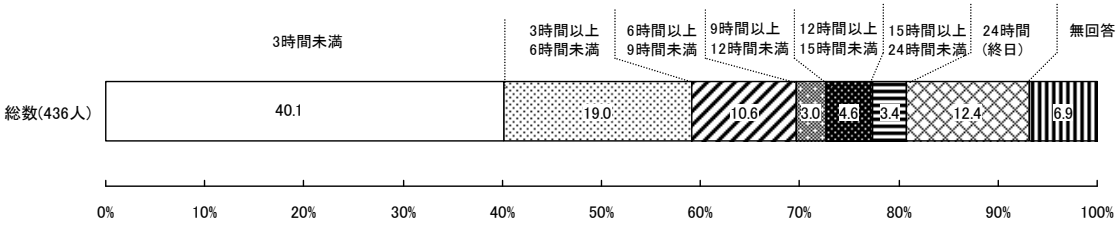


図 4-8　主に介護をしている人から介護を受けている時間



主に介護をしている人の状況を週あたりで見ると、介護を受けている日数が 1 日の場合、「ホームヘルパー」の割合が 74.6%で、最も高くなっている。一方、介護を受けている日数が 7 日の場合、「子供」の割合が最も高く 42.8%、次いで「配偶者」の割合が 37.0%となっている。

また、1 日あたりで見ると、介護を受けている時間が 3 時間以上の場合、概ね、「配偶者」、「子供」の割合が高くなっている。一方、介護を受けている時間が 3 時間未満の場合、「ホームヘルパー」の割合が 46.3%で最も高くなっている。(表 4-6)

表 4-6　主に介護をしている人

－週のうち介護を受けている日数、1 日あたり介護を受けている時間別

		総数	配偶者	子供	子供の配偶者	孫又はその配偶者	兄弟姉妹	1～5以外の親族	ホームヘルパー	訪問看護師	その他
総数		100.0 (436)	28.7	33.9	10.1	0.2	2.1	0.7	20.6	0.2	3.4
週のうち介護を受けている日数別	1日未満	100.0 (1)	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－
	1日	100.0 (59)	10.2	6.8	1.7	－	3.4	－	74.6	－	3.4
	2日	100.0 (39)	12.8	12.8	－	－	2.6	－	66.7	2.6	2.6
	3日	100.0 (16)	6.3	31.3	6.3	－	－	－	43.8	－	12.5
	4日	100.0 (10)	20.0	30.0	20.0	－	－	－	20.0	－	10.0
	5日	100.0 (18)	11.1	50.0	22.2	－	－	－	16.7	－	－
	6日	100.0 (12)	25.0	50.0	－	－	－	－	25.0	－	－
	7日	100.0 (257)	37.0	42.8	13.2	－	2.3	0.8	1.2	－	2.7
1日あたり介護を受けている時間別	24時間(終日)	100.0 (54)	42.6	35.2	7.4	－	3.7	－	1.9	－	9.3
	21時間以上24時間未満	100.0 (1)	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－
	18時間以上21時間未満	100.0 (4)	50.0	25.0	25.0	－	－	－	－	－	－
	15時間以上18時間未満	100.0 (10)	30.0	50.0	20.0	－	－	－	－	－	－
	12時間以上15時間未満	100.0 (20)	50.0	40.0	10.0	－	－	－	－	－	－
	9時間以上12時間未満	100.0 (13)	7.7	53.8	23.1	－	15.4	－	－	－	－
	6時間以上9時間未満	100.0 (46)	41.3	45.7	4.3	－	－	－	2.2	－	6.5
	3時間以上6時間未満	100.0 (83)	28.9	44.6	12.0	－	2.4	2.4	6.0	－	3.6
	3時間未満	100.0 (175)	17.1	24.0	9.1	－	1.7	－	46.3	0.6	1.1

(7) 介護を手伝っている人－性・年齢階級、配偶者の有無、世帯類型別

主に介護をしている人しかいない（「介護を手伝っている人はいない」）割合が、男女とも最も高く、それぞれ 44.7%、31.6%

要介護認定を受けている人のうち、介護を受けている人（436 人）が誰に介護を手伝ってもらっているかを、介護を受けている人の性・年齢階級別に見ると、主に介護をしている人しかいない（「介護を手伝っている人はいない」）割合が、男女とも最も高く（44.7%、31.6%）、次いで「ホームヘルパー」（17.9%、20.4%）、「子供」（14.6%、18.8%）となっている。（表 4-7）

表 4-7 介護を手伝っている人－性・年齢階級、配偶者の有無、世帯類型別

		総数	配偶者	子供	子供の配偶者	孫又はその配偶者	兄弟姉妹	1～5以外の親族	ホームヘルパー	訪問看護師	その他	介護を手伝ってもらっている人はいない	無回答
総数		100.0 (436)	0.9	17.7	5.7	1.6	1.4	0.7	19.7	2.1	1.8	35.3	13.1
性・年齢階級別	男	100.0 (123)	2.4	14.6	3.3	－	0.8	－	17.9	3.3	2.4	44.7	10.6
	65～74歳	22.0 (22)	－	18.2	－	－	4.5	－	9.1	4.5	－	40.9	22.7
	75～84歳	100.0 (62)	3.2	17.7	3.2	－	－	－	19.4	3.2	－	43.5	9.7
	85歳以上	100.0 (39)	2.6	7.7	5.1	－	－	－	20.5	2.6	7.7	48.7	5.1
	75歳以上（再掲）	100.0 (101)	3.0	13.9	4.0	－	－	－	19.8	3.0	3.0	45.5	7.9
	女	100.0 (313)	0.3	18.8	6.7	2.2	1.6	1.0	20.4	1.6	1.6	31.6	14.1
	65～74歳	100.0 (36)	－	19.4	－	2.8	2.8	－	25.0	5.6	5.6	30.6	8.3
	75～84歳	100.0 (134)	－	9.7	4.5	－	3.0	1.5	23.1	1.5	2.2	35.1	19.4
	85歳以上	100.0 (143)	0.7	27.3	10.5	4.2	－	0.7	16.8	0.7	－	28.7	10.5
	75歳以上（再掲）	100.0 (277)	0.4	18.8	7.6	2.2	1.4	1.1	19.9	1.1	1.1	31.8	14.8
配偶者の有無別	配偶者あり	100.0 (177)	2.3	15.3	2.3	－	0.6	－	23.7	4.0	1.7	37.9	12.4
	男	100.0 (97)	3.1	15.5	3.1	－	－	－	18.6	4.1	1.0	42.3	12.4
	女	100.0 (80)	1.3	15.0	1.3	－	1.3	－	30.0	3.8	2.5	32.5	12.5
	配偶者なし	100.0 (257)	－	19.5	8.2	2.7	1.9	1.2	16.7	0.8	1.9	33.9	13.2
	未婚	100.0 (23)	－	－	－	－	13.0	－	8.7	－	4.3	47.8	26.1
	死別	100.0 (215)	－	21.4	9.8	3.3	0.9	1.4	17.2	0.9	1.4	33.5	10.2
	離別	100.0 (19)	－	21.1	－	－	－	－	21.1	－	5.3	21.1	31.6
世帯類型別	高齢者のみ世帯	100.0 (242)	0.4	11.2	4.1	0.4	2.1	0.8	18.6	2.5	2.9	42.1	14.9
	ひとり暮らし	100.0 (102)	－	10.8	5.9	－	2.9	2.0	13.7	1.0	3.9	43.1	16.7
	高齢者夫婦のみ	100.0 (111)	0.9	7.2	1.8	－	－	－	26.1	4.5	2.7	44.1	12.6
	その他の高齢者のみ	100.0 (29)	－	27.6	6.9	3.4	6.9	－	6.9	－	－	31.0	17.2
	高齢者のみでない世帯	100.0 (184)	1.6	26.1	7.6	2.7	0.5	0.5	21.7	1.6	0.5	26.1	10.9

（注）「世帯類型別」のうち、「その他の世帯」については、母集団が 7 人のため省略した。

(8) 介護を手伝っている人－動作能力類型、要介護度別

ねたきり高齢者は、「ホームヘルパー」、「子供」が手伝っている割合が高い

要介護認定を受けている人のうち、介護を受けている人（436 人）が誰に介護を手伝ってもらっているかを、介護を受けている人の動作能力類型別に見ると、ねたきり高齢者は、「ホームヘルパー」の割合が最も高く 27.6%、次いで「子供」26.7%となっている。また、ねたきり高齢者は、「介護を手伝っている人はいない」の割合が 15.2%で、他の動作能力の人と比較して最も低い割合になっている。（表 4-8）

表 4-8 介護を手伝っている人－動作能力類型、要介護度別

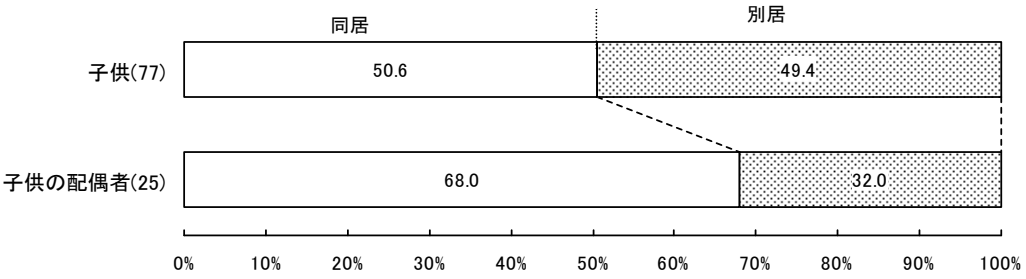
		総数	配偶者	子供	子供の配偶者	孫又はその配偶者	兄弟姉妹	1～5以外の親族	ホームヘルパー	訪問看護師	その他	介護を手伝っている人はいない	無回答
総数		100.0 (436)	0.9	17.7	5.7	1.6	1.4	0.7	19.7	2.1	1.8	35.3	13.1
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (293)	1.4	20.1	6.8	2.0	1.4	0.7	25.6	2.7	2.4	25.9	10.9
	ねたきり高齢者	100.0 (105)	2.9	26.7	6.7	2.9	1.0	－	27.6	1.0	4.8	15.2	11.4
	ねたきりに近い高齢者	100.0 (188)	0.5	16.5	6.9	1.6	1.6	1.1	24.5	3.7	1.1	31.9	10.6
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (43)	－	14.0	－	2.3	2.3	－	16.3	－	－	51.2	14.0
	軽い障害のある高齢者	100.0 (65)	－	13.8	3.1	－	－	1.5	－	1.5	－	61.5	18.5
	障害のない高齢者	100.0 (32)	－	6.3	9.4	－	3.1	－	6.3	－	3.1	50.0	21.9
要介護度別	要支援1	100.0 (80)	－	12.5	5.0	1.3	2.5	－	8.8	－	1.3	53.8	15.0
	要支援2	100.0 (71)	－	11.3	2.8	－	－	－	12.7	4.2	2.8	50.7	15.5
	要介護1	100.0 (65)	1.5	16.9	7.7	－	1.5	1.5	20.0	－	1.5	32.3	16.9
	要介護2	100.0 (87)	1.1	16.1	6.9	4.6	2.3	2.3	23.0	2.3	1.1	32.2	8.0
	要介護3	100.0 (58)	1.7	31.0	10.3	－	1.7	－	19.0	1.7	1.7	19.0	13.8
	要介護4	100.0 (39)	2.6	23.1	5.1	－	－	－	38.5	－	－	25.6	5.1
	要介護5	100.0 (29)	－	24.1	－	6.9	－	－	34.5	6.9	3.4	13.8	10.3

(9) 介護を手伝っている人の同居の有無

介護を手伝っている人が「子供」の場合、「同居」、「別居」ともに 5 割ずつ

介護を手伝っている人が、配偶者、子供、子供の配偶者、孫又はその配偶者、兄弟姉妹、その他の親族である人（122 人）に、同居の有無を聞いたところ、介護を手伝っている人が「子供」の場合、「同居」50.6%、「別居」49.4%となっている。(図 4-9)

図 4-9 介護を手伝っている人の同居の有無



（注）母集団が「配偶者」は 4 人、「孫又はその配偶者」は 7 人、「兄弟姉妹」は 6 人、「その他親族」は 3 人のため省略した。

(10) 介護を手伝っている人から介護を受けている日数、時間

日数は、「1 日」と「2 日」の割合が最も高くそれぞれ 23.6%、時間は、「3 時間未満」の割合が最も高く 57.8%

介護を手伝っている人がいる人（225 人）に、介護を手伝っている人から、およそ 1 週間で介護を受けている日数と 1 日あたり介護を受けている時間を聞いたところ、介護を受けている日数は、「1 日」と「2 日」の割合が最も高くそれぞれ 23.6%、次いで「7 日」22.2%となっている。(図 4-10)

介護を受けている時間は、「3 時間未満」の割合が最も高く 57.8%、次いで「3 時間以上 6 時間未満」が 19.6%となっている。(図 4-11)

図 4-10 介護を手伝っている人から介護を受けている日数

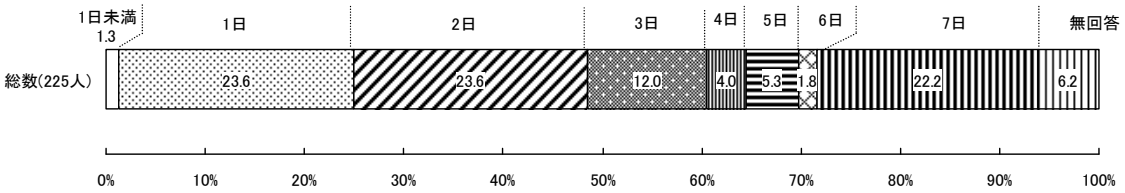
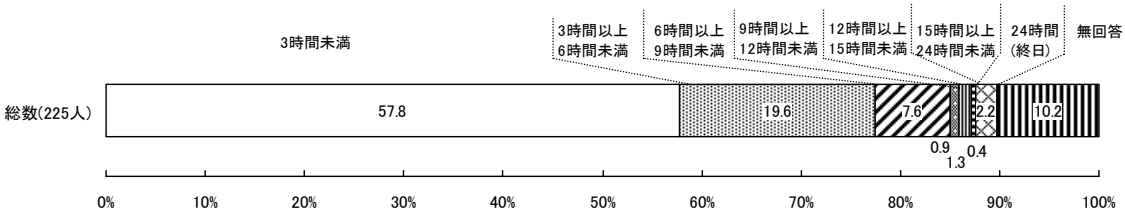


図 4-11 介護を手伝っている人から介護を受けている時間



(11) 主に介護をしている人、介護を手伝っている人(上位 10 位)－性・年齢階級別

「ホームヘルパー・手伝っている人はいない」の組合せの割合が最も高く、約 1 割

要介護認定を受けている人(505 人)のうち、介護を受けている人が、誰から主に介護を受けているか、手伝ってもらっているかの組合せを見ると、「ホームヘルパー・手伝っている人はいない」の割合が最も高く 11.1%、次いで「配偶者・手伝っている人はいない」9.5%、「子供・ホームヘルパー」8.3%となっている。(表 4-9)

表 4-9 主に介護をしている人、介護を手伝っている人(上位 10 位)－性・年齢階級別

		総数	介護を受けている	ホームヘルパー・手伝っている人はいない	配偶者・手伝っている人はいない	子供・ホームヘルパー	子供・手伝っている人はいない	配偶者・ホームヘルパー	子供・子供	子供の配偶者・子供	配偶者・子供	子供・子供の配偶者	ホームヘルパー・子供	その他	介護は受けていない	無回答
総数		100.0 (505)	75.0	11.1	9.5	8.3	7.7	5.9	5.1	4.8	3.6	3.2	1.8	14.1	12.5	12.5
性・年齢階級別	男	100.0 (144)	76.4	9.7	22.9	2.8	2.8	9.7	－	1.4	8.3	1.4	2.8	14.6	13.2	10.4
	65～74歳	100.0 (31)	54.8	3.2	16.1	－	3.2	6.5	－	－	9.7	－	3.2	12.9	25.8	19.4
	75～84歳	100.0 (66)	84.8	4.5	31.8	1.5	3.0	12.1	－	1.5	12.1	1.5	3.0	13.6	6.1	9.1
	85歳以上	100.0 (47)	78.7	21.3	14.9	6.4	2.1	8.5	－	2.1	2.1	2.1	2.1	17.0	14.9	6.4
	75歳以上(再掲)	100.0 (113)	82.3	11.5	24.8	3.5	2.7	10.6	－	1.8	8.0	1.8	2.7	15.0	9.7	8.0
	女	100.0 (361)	74.5	11.6	4.2	10.5	9.7	4.4	7.2	6.1	1.7	3.9	1.4	13.9	12.2	13.3
	65～74歳	100.0 (39)	84.6	17.9	7.7	7.7	2.6	10.3	2.6	－	12.8	－	2.6	20.5	5.1	10.3
	75～84歳	100.0 (169)	63.9	11.2	5.9	10.1	7.7	6.5	3.0	3.0	－	2.4	1.8	12.4	20.1	16.0
	85歳以上	100.0 (153)	83.7	10.5	1.3	11.8	13.7	0.7	13.1	11.1	0.7	6.5	0.7	13.7	5.2	11.1
	75歳以上(再掲)	100.0 (322)	73.3	10.9	3.7	10.9	10.6	3.7	7.8	6.8	0.3	4.3	1.2	13.0	13.0	13.7

(注 1) 主に介護をしている人がいても、手伝っている人の問いで「無回答」と回答した人は、「無回答」に分類している。

(注 2) 性・年齢階級別の内訳は、総数の上位 10 位とクロス集計したため、必ずしも各階級の上位 10 位とは一致しない。

(注 3) 組合せの表記については「主に介護をしている人・手伝っている人」の順である。

(12)　介護サービスの利用状況

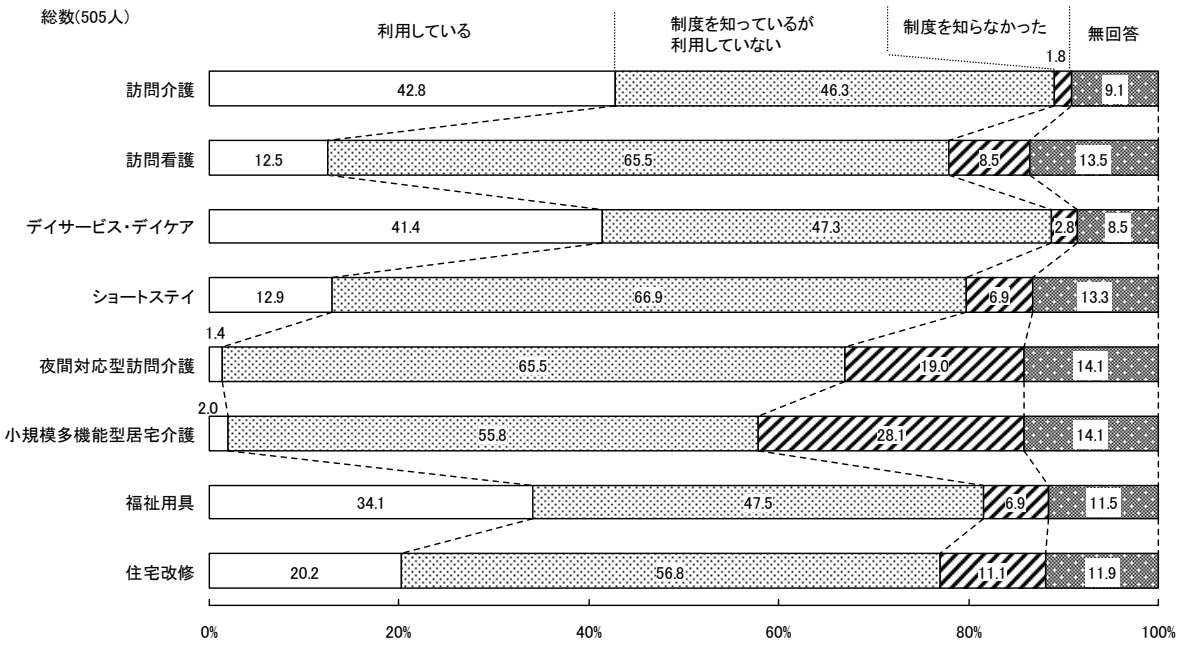
「利用している」割合が高いのは、訪問介護とデイサービス・デイケアで、約 4 割

要介護認定を受けている人（505 人）に、介護サービスの利用状況を聞いたところ、利用している割合が最も高かったのは、「訪問介護」で 42.8%、次いで「デイサービス・デイケア」が 41.4%、「福祉用具」が 34.1%と続いている。

また、「小規模多機能型居宅介護」については、「制度を知らなかった」人の割合が 28.1%と約 3 割となっている。(図 4-12)

問　以下の在宅にいながら利用できる介護サービスについて、あなたの過去 1 年間の利用状況と、今後の利用意向をお答えください。

図 4-12　介護サービスの利用状況

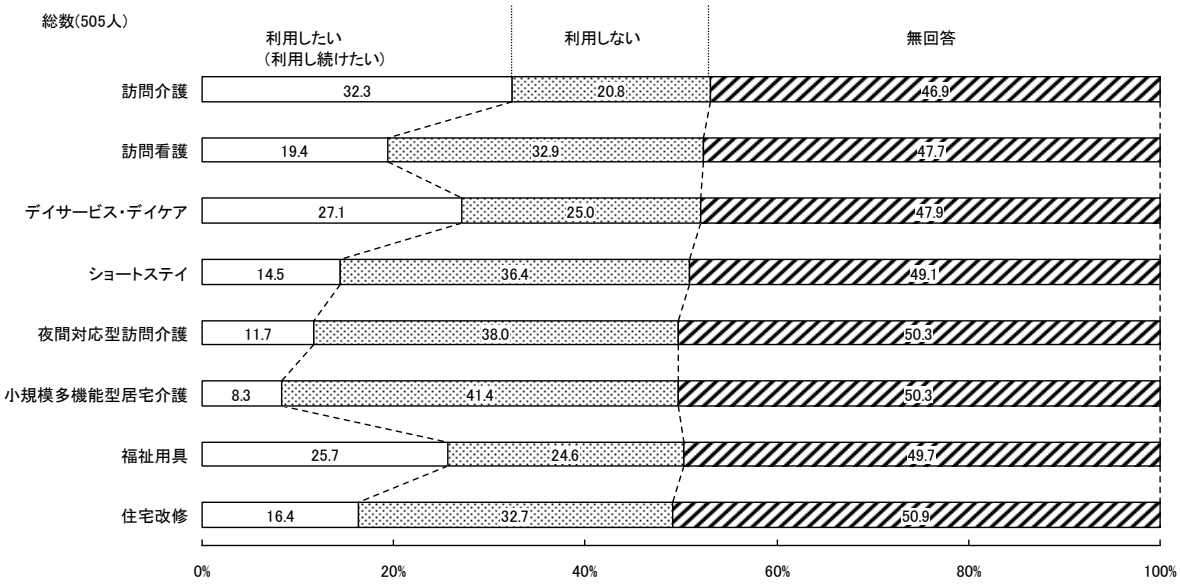


(13)　介護サービスの今後の利用

利用したい（利用し続けたい）割合が最も高くなっているのは、「訪問介護」で約 3 割

要介護認定を受けている人（505 人）に、介護サービスの今後の利用意向を聞いたところ、利用したい（利用し続けたい）の割合が最も高かったのは、「訪問介護」で 32.3%、次いで「デイサービス・デイケア」が 27.1%、「福祉用具」が 25.7%と続いている。（図 4-13）

図 4-13　介護サービスの今後の利用



(14)　介護サービスを利用していない理由

訪問介護を除く各サービスでは、「サービスを利用しなくても困らないから」の割合が最も高く、4割超

介護サービスの制度を知っているが利用していない人に理由を聞いたところ、訪問介護を除くサービスでは、「サービスを利用しなくても困らないから」が最も高い割合となっており、それぞれ4割を超えている。

訪問介護については、「家族等の介護で間に合っている」の割合が最も高く 33.8%、次いで「サービスを利用しなくても困らないから」が 33.3%となっている。(表 4-10)

問　制度を知っているが利用していないのはなぜですか。

表 4-10　介護サービスを利用していない理由(複数回答)

	総数	サービスを利用しなくても困らないから	家族等の介護で間に合っている	他人を家に入れたくない	サービスの内容が希望と合わない	利用者負担が大きい	その他	無回答
訪問介護	100.0 (234)	33.3	33.8	6.4	1.7	3.8	3.8	25.2
訪問看護	100.0 (331)	42.0	25.7	4.8	0.9	3.6	3.6	25.1
デイサービス・デイケア	100.0 (239)	47.3	23.4	2.9	4.2	2.5	4.6	18.4
ショートステイ	100.0 (338)	47.3	21.0	1.8	3.3	2.4	4.7	23.4
夜間対応型訪問介護	100.0 (331)	43.5	23.3	3.6	1.5	2.1	1.8	29.6
小規模多機能型居宅介護	100.0 (282)	45.7	20.2	2.8	1.1	2.1	4.3	28.0
福祉用具	100.0 (240)	54.2	15.4	2.1	0.8	4.6	4.6	22.5
住宅改修	100.0 (287)	46.7	14.6	1.7	0.3	4.9	7.3	28.2

3　望む介護のあり方

(1)　介護が必要になった場合、利用したい介護サービス(複数回答)
ー性・年齢階級、介護の状況、望む在宅介護の形態別

「わからない」の割合が最も高く、約4割

要介護認定を申請していない人（4,189人）に、介護が必要になった場合に利用したい介護サービスはどれか聞いたところ、「わからない」の割合が最も高く、37.5%となっている。

利用したい介護サービスの中では、「ホームヘルパー等から、自宅等において、生活全般の介護及び看護を受けるサービス」の割合が最も高く33.8%となっている。

性別に見ると、女性は、「受けたい介護サービスはない」、「わからない」を除くすべての項目で、男性より高い割合になっている。

介護の状況別に見ると、「ホームヘルパー等から、自宅等において、生活全般の介護及び看護を受けるサービス」の割合は、介護している人は43.6%、介護していない人は32.4%で、介護している人の方が10ポイント以上高くなっている。

望む在宅介護の形態別に見ると、「受けたい介護サービスはない」の割合が、家族や親族による介護を望む人は23.1%で、他の形態を望む人と比較して、10ポイント以上高くなっている。(表4-11)

問　あなたが今後介護が必要になった場合、利用したい介護サービスはどれですか。

表4-11　介護が必要になった場合、利用したい介護サービス(複数回答)
ー性・年齢階級、介護の状況、望む在宅介護の形態別

		総数	ホームヘルパー等から、自宅等において、生活全般の介護及び看護を受けるサービス	日帰りで施設に通いながら、生活全般の世話などの介護を受けるサービス	老人ホームなどの施設へ短期間に限って入所し、介護の世話などを受けるサービス	福祉用具の貸与や購入費の支給、住宅改修費の支給	老人ホームや病院などの施設へ入所し、施設において介護などを受ける	受けたい介護サービスはない	わからない	無回答
総数		100.0 (4,189)	33.8	20.6	10.1	15.2	16.0	9.4	37.5	3.7
性別	男	100.0 (1,886)	31.7	18.8	8.6	14.1	14.8	9.8	40.0	4.6
	女	100.0 (2,303)	35.5	22.1	11.2	16.2	16.9	9.0	35.5	3.0
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,446)	33.5	21.8	10.4	16.2	16.9	8.7	38.3	3.6
	75～84歳	100.0 (1,490)	34.0	19.5	9.9	14.2	14.7	9.9	36.8	3.4
	85歳以上	100.0 (253)	34.8	15.4	7.9	11.5	14.6	12.3	34.4	6.3
	75歳以上(再掲)	100.0 (1,743)	34.1	18.9	9.6	13.8	14.7	10.2	36.4	3.8
介護の状況別	介護している	100.0 (433)	43.6	25.9	11.3	22.2	21.7	5.5	29.6	2.3
	介護していない	100.0 (3,715)	32.4	19.8	9.9	14.4	15.3	9.9	38.7	3.8
望む在宅介護の形態別	家族や親族による介護	100.0 (532)	16.9	8.1	3.8	8.8	5.1	23.1	49.1	1.7
	家族や親族の介護を中心に、介護サービスも利用する	100.0 (1,238)	33.9	20.3	7.4	15.2	9.6	9.0	41.0	2.7
	介護サービスを中心に、家族や親族の介護も受ける	100.0 (1,291)	44.5	29.7	14.6	20.8	19.2	5.0	32.8	2.0
	介護サービスのみを利用する	100.0 (894)	34.2	18.5	11.9	13.4	28.4	8.1	31.8	1.6

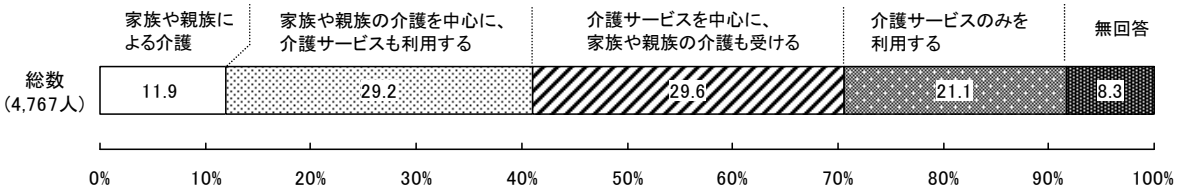
(2)　在宅で介護を受ける場合に望む介護のあり方

望む在宅介護のあり方は、「介護サービスを中心に、家族や親族の介護も受ける」、「家族や親族の介護を中心に、介護サービスも利用する」の割合がそれぞれ約 3 割

自分自身に介護が必要となり、在宅で介護を受ける場合に、どのような対応を望むかを聞いたところ、「介護サービスを中心に、家族や親族の介護も受ける」の割合が最も高く 29.6%、次いで「家族や親族の介護を中心に、介護サービスも利用する」が 29.2%となっている。(図 4-14)

問　あなたが今後介護が必要になり、在宅で介護を受ける場合に望む介護のあり方はどのようなものですか。
※　現在介護を受けている方は、現況にかかわらず、望むあり方をお答えください

図 4-14　介護が必要になった場合に望む介護のあり方



(3) 在宅で介護を受ける場合に望む介護のあり方
－性・年齢階級、配偶者の有無、世帯類型、介護の状況別

「介護サービスのみを利用する」の割合は、配偶者なし(未婚)が 67.1%、ひとり暮らしが 54.1%

在宅で介護を受ける場合に望む介護のあり方について、性別に見ると、「家族や親族による介護」の割合が、男性 15.2%、女性 9.4%で、男性の方が 5.8 ポイント高くなっている。「家族や親族の介護を中心に介護サービスも利用する」の割合は男性 33.9%、女性 25.5%で、男性の方が 8.9 ポイント高くなっている。

配偶者の有無別に見ると、「介護サービスのみを利用する」の割合は、配偶者なし（未婚）の人は 67.1%で、総数（21.1%）と比較して、46.0 ポイント高くなっている。

世帯類型別に見ると、「介護サービスのみを利用する」の割合は、ひとり暮らしは、54.1%で、他の類型に比べて高くなっている。

介護の状況別に見ると、「家族や親族による介護」の割合は、介護している人は 26.5%、介護していない人は 20.6%で、介護をしていない人の方が 6.0 ポイント高くなっている。（表 4-12）

表 4-12 在宅で介護を受ける場合に望む介護のあり方
－性・年齢階級、配偶者の有無、世帯類型、介護の状況別

		総数	家族や親族による介護	家族や親族の介護を中心に、介護サービスも利用する	介護サービスを中心に、家族や親族の介護も受ける	介護サービスのみを利用する	無回答
総数		100.0 (4,767)	11.9	29.2	29.6	21.1	8.3
性別	男	100.0 (2,057)	15.2	33.9	26.1	16.8	8.0
	女	100.0 (2,710)	9.4	25.5	32.2	24.3	8.6
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,541)	11.3	27.9	31.8	22.5	6.4
	75～84歳	100.0 (1,761)	12.0	31.3	28.6	20.3	7.8
	85歳以上	100.0 (465)	14.4	27.5	21.1	16.1	20.9
	75歳以上(再掲)	100.0 (2,226)	12.5	30.5	27.0	19.5	10.5
配偶者の有無別	配偶者あり	100.0 (3,039)	13.5	35.0	31.7	12.9	7.0
	配偶者なし	100.0 (1,716)	9.1	18.9	26.0	35.5	10.4
	未婚	100.0 (243)	4.1	4.5	14.4	67.1	9.9
	死別	100.0 (1,212)	10.6	23.6	28.6	26.4	10.8
	離別	100.0 (261)	7.3	10.3	24.9	48.3	9.2
世帯類型別	高齢者のみ世帯	100.0 (2,634)	9.9	25.2	29.1	28.6	7.2
	ひとり暮らし	100.0 (899)	5.9	11.2	22.6	54.1	6.2
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,611)	12.5	33.2	32.6	14.9	6.8
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	6.5	21.8	30.6	22.6	18.5
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	14.3	34.7	30.3	11.1	9.6
	その他の世帯	100.0 (84)	15.5	22.6	26.2	23.8	11.9
介護の状況別	介護している	100.0 (460)	6.5	27.2	34.1	26.5	5.7
	介護していない	100.0 (4,256)	12.5	29.4	29.1	20.6	8.4

4　日常生活支援サービスの利用状況(複数回答)

(1)　日常生活支援サービスの利用状況（複数回答）

日常生活支援サービスを「利用している」人の割合は、1割以下

日常の生活を支援するサービス（介護保険対象外、民間・公的を問わない）の利用状況について聞いたところ、「利用していない」の割合が93.1%で、「利用している」人は、6.2%であった。(図4-15)

利用している人(296人)に利用しているサービスについて聞いたところ、「家事援助（掃除・洗濯・買い物など)」の割合が最も高く48.0%、次いで「配食サービス」が35.1%となっている。(図4-16)

問　あなたは、現在、日常の生活を支援するサービスを利用していますか。
※　家事援助や通院の付き添い等、介護保険サービスを受けていても保険内の利用では足りず、自費でサービスを利用している場合も含めます

図4-15　日常生活支援サービスの利用状況(複数回答)

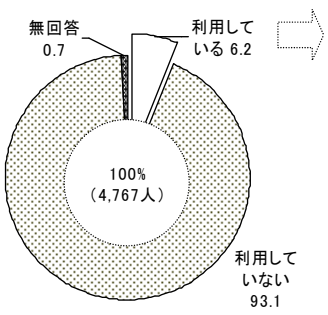
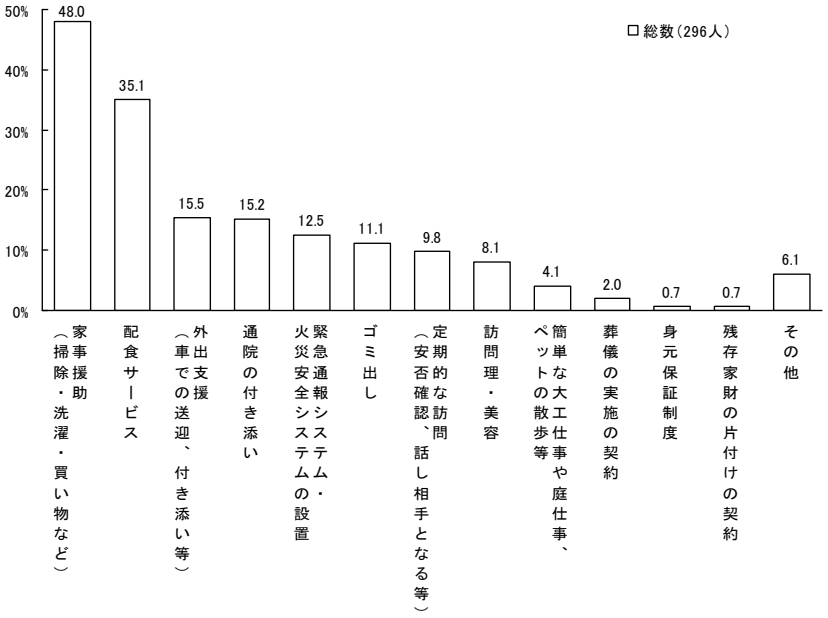


図4-16　利用しているサービス(複数回答)



(2) 日常生活支援サービスの利用状況（複数回答）－性・年齢階級、世帯類型別

男女とも年齢階級が上がるにつれて、「配食サービス」と「家事援助(掃除、洗濯、買い物など)」の割合が上がっている

日常の生活を支援するサービス（介護保険対象外、民間・公的を問わない）の利用状況について、性・年齢階級別に見ると、男女とも年齢階級が上がるにつれて、「配食サービス」と「家事援助(掃除、洗濯、買い物など)」の割合が上がっている。

特に男性85歳以上では、「配食サービス」が10.5%、「家事援助(掃除、洗濯、買い物など)」が11.8%、女性85歳以上では「家事援助（掃除、洗濯、買い物など)」が11.5%でそれぞれ1割を超えている。

世帯類型別に見ると、ひとり暮らしの人は、「配食サービス」の割合が5.0%、「家事援助(掃除、洗濯、買い物など)」が7.5%で、総数の割合(2.2%、3.0%)に比べて高くなっている。（表4-13）

表4-13 日常生活支援サービスの利用状況（複数回答）－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	配食サービス	家事援助（掃除、洗濯、買い物など）	簡単な大工仕事や庭仕事、ペットの散歩等	ゴミ出し	外出支援（車での送迎、付き添い等）	通院の付き添い	定期的な訪問（安否確認、話し相手となる等）	緊急通報システム・火災安全システムの設置	訪問理・美容	身元保証制度	葬儀の実施の契約	残存家財の片付けの契約	その他	利用しているサービスはない	無回答
総数		100.0 (4,767)	2.2	3.0	0.3	0.7	1.0	0.9	0.6	0.8	0.5	0.0	0.1	0.0	0.4	93.1	0.7
性・年齢階級別	男	100.0 (2,057)	2.1	1.8	0.1	0.4	0.4	0.6	0.4	0.5	0.3	－	0.1	0.0	0.1	94.9	0.8
	65～74歳	100.0 (1,191)	0.9	0.4	－	－	0.3	0.3	0.1	0.2	－	－	0.3	－	0.2	96.9	0.9
	75～84歳	100.0 (713)	2.4	1.8	0.3	0.6	0.6	0.8	0.6	0.7	0.4	－	－	0.1	0.1	94.4	0.4
	85歳以上	100.0 (153)	10.5	11.8	－	2.6	0.7	2.0	2.6	2.0	2.6	－	－	－	－	81.7	1.3
	75歳以上(再掲)	100.0 (866)	3.8	3.6	0.2	0.9	0.6	1.0	0.9	0.9	0.8	－	－	0.1	0.1	92.1	0.6
	女	100.0 (2,710)	2.2	3.9	0.4	0.9	1.4	1.2	0.7	1.0	0.6	0.1	0.1	0.0	0.6	91.7	0.7
	65～74歳	100.0 (1,350)	0.7	0.9	0.1	0.2	0.5	0.4	0.4	0.5	0.1	0.1	0.1	－	0.1	97.1	0.7
	75～84歳	100.0 (1,048)	3.1	5.5	0.5	1.3	1.4	1.6	0.8	1.1	0.9	0.1	0.1	0.1	0.5	88.9	0.8
	85歳以上	100.0 (312)	5.4	11.5	1.3	2.6	5.1	3.2	1.9	2.6	2.2	－	－	－	2.6	77.6	0.3
	75歳以上(再掲)	100.0 (1,360)	3.7	6.9	0.7	1.6	2.3	2.0	1.0	1.5	1.2	0.1	0.1	0.1	1.0	86.3	0.7
世帯類型別	高齢者のみ世帯	100.0 (2,634)	3.0	4.3	0.4	1.1	1.1	1.0	0.8	1.1	0.5	－	0.1	0.0	0.3	91.6	0.8
	ひとり暮らし	100.0 (899)	5.0	7.5	0.7	2.1	1.6	1.6	1.8	2.3	0.7	－	0.2	0.1	0.4	87.0	0.9
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,611)	1.9	2.5	0.2	0.5	0.6	0.6	0.4	0.6	0.4	－	0.1	－	0.2	94.3	0.7
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	2.4	4.0	－	0.8	4.0	2.4	－	－	－	－	－	－	0.8	89.5	0.8
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	1.2	1.3	0.1	0.2	0.9	0.8	0.3	0.3	0.5	0.1	0.1	0.0	0.4	95.0	0.6
	その他の世帯	100.0 (84)	1.2	1.2	－	－	－	1.2	－	1.2	－	－	－	－	－	94.0	1.2

(3) 日常生活支援サービスの利用状況（複数回答）－動作能力類型、要介護認定の有無別

要介護認定を受けている人では「家事援助（掃除、洗濯、買い物など）」が約 2 割

日常の生活を支援するサービス（介護保険対象外、民間・公的を問わない）の利用状況について、動作能力類型別に見ると、ねたきり高齢者では、「配食サービス」（11.0%）、「家事援助（掃除、洗濯、買い物など）」（11.0%）、「外出支援（車での送迎、付き添い等）」（12.8%）、「訪問理・美容」（10.1%）、ねたきりに近い高齢者では、「家事援助（掃除、洗濯、買い物など）」（15.8%）が、それぞれ 1 割を超えている。

要介護認定の有無別に見ると、認定を受けている人では、「家事援助（掃除、洗濯、買い物など）」が 21.0%で、約 2 割となっている。（表 4-14）

表 4-14　日常生活支援サービスの利用状況（複数回答）
－動作能力類型、要介護認定の有無別

		総数	配食サービス	家事援助（掃除、洗濯、買い物など）	簡単な大工仕事や庭仕事、ペットの散歩等	ゴミ出し	外出支援（車での送迎、付き添い等）	通院の付き添い	定期的な訪問（安否確認、話し相手となる等）	緊急通報システム・火災安全システムの設置	訪問理・美容	身元保証制度	葬儀の実施の契約	残存家財の片付けの契約	その他	利用しているサービスはない	無回答
総数		100.0 (4,767)	2.2	3.0	0.3	0.7	1.0	0.9	0.6	0.8	0.5	0.0	0.1	0.0	0.4	93.1	0.7
動作能力類型別	ねたきり等の高齢者	100.0 (401)	8.7	14.5	0.7	3.7	8.7	7.2	3.2	2.5	4.7	－	－	－	2.2	67.3	2.0
	ねたきり高齢者	100.0 (109)	11.0	11.0	－	3.7	12.8	7.3	4.6	3.7	10.1	－	－	－	4.6	57.8	5.5
	ねたきりに近い高齢者	100.0 (292)	7.9	15.8	1.0	3.8	7.2	7.2	2.7	2.1	2.7	－	－	－	1.4	70.9	0.7
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (417)	3.4	4.3	0.7	1.7	0.7	1.7	1.0	1.2	0.2	－	－	－	－	89.9	0.7
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,043)	2.5	3.4	0.3	0.6	0.7	0.7	0.6	1.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.7	92.9	0.6
	障害のない高齢者	100.0 (2,872)	1.0	1.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2	0.3	0.0	0.0	0.1	－	0.1	97.2	0.5
要介護認定の有無別	認定を申請していない	100.0 (4,189)	1.0	0.8	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	97.1	0.5
	認定を申請中	100.0 (40)	5.0	2.5	－	－	－	2.5	－	－	－	－	－	－	－	90.0	－
	認定を申請したが、「自立」と認定された	100.0 (21)	－	14.3	－	－	－	4.8	－	－	－	－	－	－	－	81.0	－
	認定を受けている	100.0 (505)	11.9	21.0	1.0	5.5	7.9	6.9	5.0	4.6	4.2	－	0.2	0.2	3.0	60.2	2.0

5　日常生活支援サービスの利用意向(複数回答)

(1)　日常生活支援サービスの利用意向（複数回答）

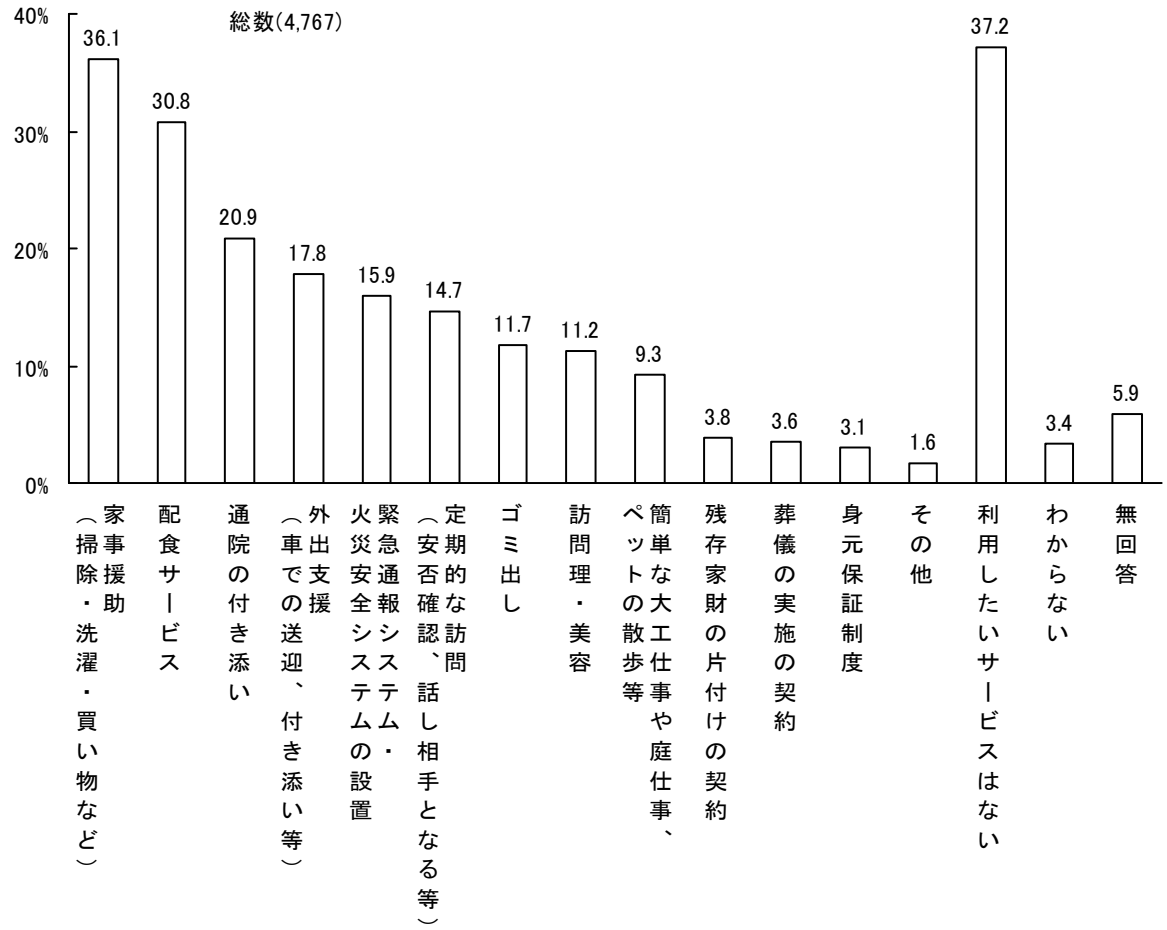
日常生活支援サービスで利用したいサービスは、「家事援助（掃除・洗濯・買い物など)」の割合が最も高く、約 4 割

今後、利用したい日常生活支援サービスについて聞いたところ、「利用したいサービスはない」の割合が最も高く、37.2%となっている。

利用したいサービスについて見ると、「家事援助(掃除・洗濯・買い物など)」の割合が 36.1%、次いで「配食サービス」が 30.8%、「通院の付き添い」20.9%となっている。(図 4-17)

問　今後、利用したいと思うサービスすべてに○をつけてください。
※　現在利用していない方は、今後、体の具合が悪くなる等で必要になった場合に利用したいサービスに○をつけてください

図 4-17　日常生活支援サービスの利用意向(複数回答)



(2) 日常生活支援サービスの利用意向（複数回答）－性・年齢階級、世帯類型別

ひとり暮らし、高齢者夫婦のみ世帯における「配食サービス」、「家事援助（掃除、洗濯、買い物など）」の割合は、総数の割合よりも高くなっている

日常の生活を支援するサービス（介護保険対象外、民間・公的を問わない）の利用意向について、性・年齢階級別に見ると、「家事援助(掃除、洗濯、買い物など)」の割合は、男性 31.8%、女性 39.4%で女性の方が 7.6 ポイント高くなっている。

世帯類型別に見ると、「配食サービス」の割合が、ひとり暮らしの人は 37.8%、高齢者夫婦のみは 34.3%、「家事援助(掃除、洗濯、買い物など)」の割合が、ひとり暮らしの人は 43.7%、高齢者夫婦のみは 41.0%で、それぞれ総数の割合(30.8%、36.1%)に比べて高くなっている。(表 4-15)

表 4-15 日常生活支援サービスの利用意向（複数回答）－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	配食サービス	家事援助（掃除、洗濯、買い物など）	簡単な大工仕事や庭仕事、ペットの散歩等	ゴミ出し	外出支援（車での送迎、付き添い等）	通院の付き添い	定期的な訪問（安否確認、話し相手となる等）	緊急通報システム・火災安全システムの設置	訪問理・美容	身元保証制度	葬儀の実施の契約	残存家財の片付けの契約	その他	利用したいサービスはない	わからない	無回答
総数		100.0 (4,767)	30.8	36.1	9.3	11.7	17.8	20.9	14.7	15.9	11.2	3.1	3.6	3.8	1.6	37.2	4.0	5.9
性・年齢階級別	男	100.0 (2,057)	28.8	31.8	8.6	11.2	17.6	18.3	14.4	15.3	10.3	4.0	4.3	4.0	1.5	41.6	4.6	5.6
	65～74歳	100.0 (1,191)	29.3	32.2	9.1	12.3	19.1	18.3	15.4	16.9	10.6	4.9	5.3	4.3	1.4	42.4	4.9	3.6
	75～84歳	100.0 (713)	28.5	31.8	8.8	10.0	16.5	18.0	13.6	13.9	10.0	2.9	2.9	3.9	1.5	41.0	4.1	7.3
	85歳以上	100.0 (153)	26.1	28.8	3.9	7.8	11.1	19.6	9.8	9.8	9.2	2.6	2.6	2.6	2.0	37.9	4.6	13.1
	75歳以上（再掲）	100.0 (866)	28.1	31.3	8.0	9.6	15.6	18.2	12.9	13.2	9.8	2.9	2.9	3.7	1.6	40.4	4.2	8.3
	女	100.0 (2,710)	32.3	39.4	9.9	12.1	18.0	22.8	14.9	16.4	11.9	2.3	3.1	3.6	1.6	33.9	3.5	6.1
	65～74歳	100.0 (1,350)	36.8	42.8	12.3	14.5	20.5	25.6	17.6	19.1	13.6	3.3	4.2	5.3	1.5	33.5	3.9	2.4
	75～84歳	100.0 (1,048)	30.1	39.1	8.1	10.7	16.1	20.9	12.6	14.0	10.7	1.4	1.9	2.0	2.0	35.7	3.4	5.6
	85歳以上	100.0 (312)	20.5	25.3	5.1	6.1	13.1	17.3	11.2	12.5	9.0	1.0	2.2	1.3	1.0	29.8	2.2	23.4
	75歳以上（再掲）	100.0 (1,360)	27.9	36.0	7.4	9.6	15.4	20.1	12.3	13.7	10.3	1.3	2.0	1.8	1.8	34.3	3.2	9.7
世帯類型別	高齢者のみ世帯	100.0 (2,634)	35.2	41.6	10.1	14.2	18.6	22.4	16.6	17.4	11.3	3.7	4.3	4.6	1.6	34.4	3.8	4.8
	ひとり暮らし	100.0 (899)	37.8	43.7	9.1	16.1	17.2	20.7	17.5	16.7	9.5	4.3	4.7	6.0	1.6	33.7	2.6	3.2
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,611)	34.3	41.0	10.8	13.7	19.2	23.2	16.3	18.1	12.5	3.5	4.3	4.0	1.7	34.5	4.7	4.7
	その他の高齢者のみ	100.0 (124)	28.2	33.9	8.1	7.3	21.0	23.4	13.7	12.9	8.9	1.6	2.4	3.2	0.8	37.9	1.6	16.9
	高齢者のみでない世帯	100.0 (2,013)	24.7	28.9	8.1	8.3	16.7	19.0	12.1	13.9	10.9	2.2	2.3	2.7	1.4	41.3	4.2	7.1
	その他の世帯	100.0 (84)	34.5	35.7	14.3	11.9	20.2	21.4	20.2	19.0	15.5	3.6	8.3	3.6	3.6	32.1	4.8	7.1